

「第4次熊本市環境総合計画」に関する 市民アンケート調査報告書 【令和5年度(2023年度)版】



恵まれた環境をまもり、はぐくみ、未来へつなぐ、持続可能な環境都市

令和6年(2024年)6月
熊 本 市

1 調査概要

(1) 調査目的

令和4年(2022年)3月に策定した第4次熊本市環境総合計画では、「恵まれた環境をまもり、はぐくみ、未来へつなぐ、持続可能な環境都市」を目指すべき都市像として掲げ、それを実現するために共通して取り組む事項として「世界が認めた地下水の保全と緑あふれるまちづくりの推進」、「持続可能な脱炭素社会の実現」を重点的取組として位置づけている。また、本計画では、取組の実施状況や進捗状況を、市民意識調査等により毎年度点検評価し、その結果を計画実施体制等に反映し、着実な推進を図ることとしている。

本調査は、市民の日頃の環境保全行動・活動の取組状況や、それに対するニーズなどを調査し、熊本市の環境目標の認知度や重点協働プロジェクトの進捗状況の把握、新たに実施する施策の方向性を検討する資料とするため実施したものである。

(2) 調査方法

①調査対象

熊本市在住の満18歳以上、満90歳未満の市民

②対象者の抽出方法

住民基本台帳より無作為抽出

③対象者数

3,000人

④調査方法

調査票を郵送で配布し、回答は郵送とWEBアンケートにより回収

⑤調査時期

令和5年(2023年)11月下旬から令和5年(2023年)12月28日まで

(3) 回収数

- ・942人 (回収率 31.40%)
(郵送回収 735人、WEB回収 207人)

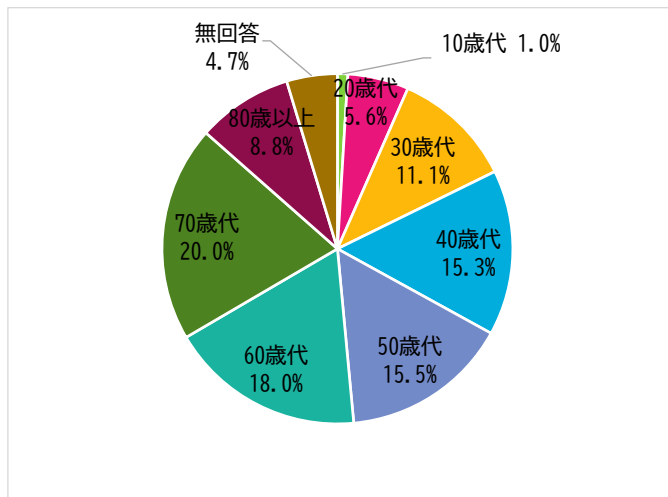
(4) 留意事項

- ・単数回答の集計については、設問ごとに無回答の項目を設けて、これを含めた全体の回収数を100%としている。なお、回答率は小数点以下第2位を四捨五入しているため、数表、図表に示す回答率の合計は必ずしも100%にならない場合がある。
- ・複数回答となる質問の集計については、項目別に回収数に対するその項目を選んだ回答者の割合としている。したがって、数表、図表に示す各項目の回答率の合計は100%を超える場合がある。
- ・提言や意見については誹謗中傷などを除いて掲載している。
- ・サンプル数が少ないものについては、属性別コメントを割愛する場合がある。

2 アンケート調査結果 令和5年度(2023年度)

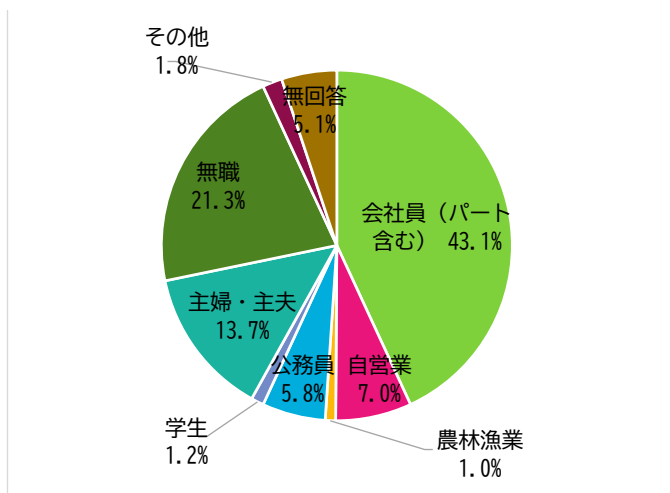
(1) 回答者の内訳

《年齢別》



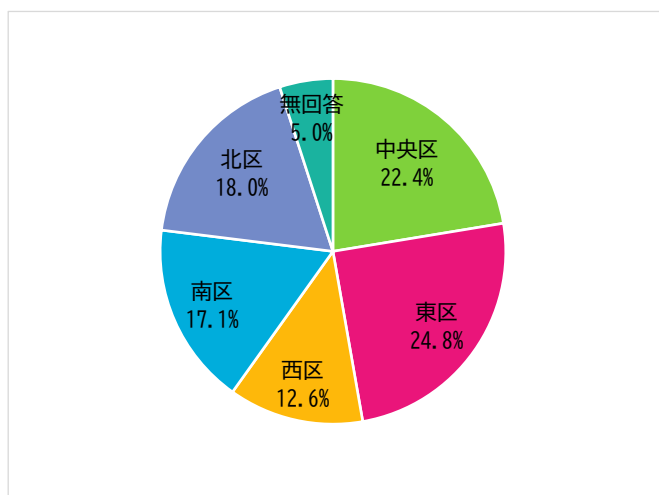
回答肢		回答数	割合
1	10歳代	9	1.0%
2	20歳代	53	5.6%
3	30歳代	105	11.1%
4	40歳代	144	15.3%
5	50歳代	146	15.5%
6	60歳代	170	18.0%
7	70歳代	188	20.0%
8	80歳以上	83	8.8%
10	無回答	44	4.7%
	合計	942	100.0%

《職業別》



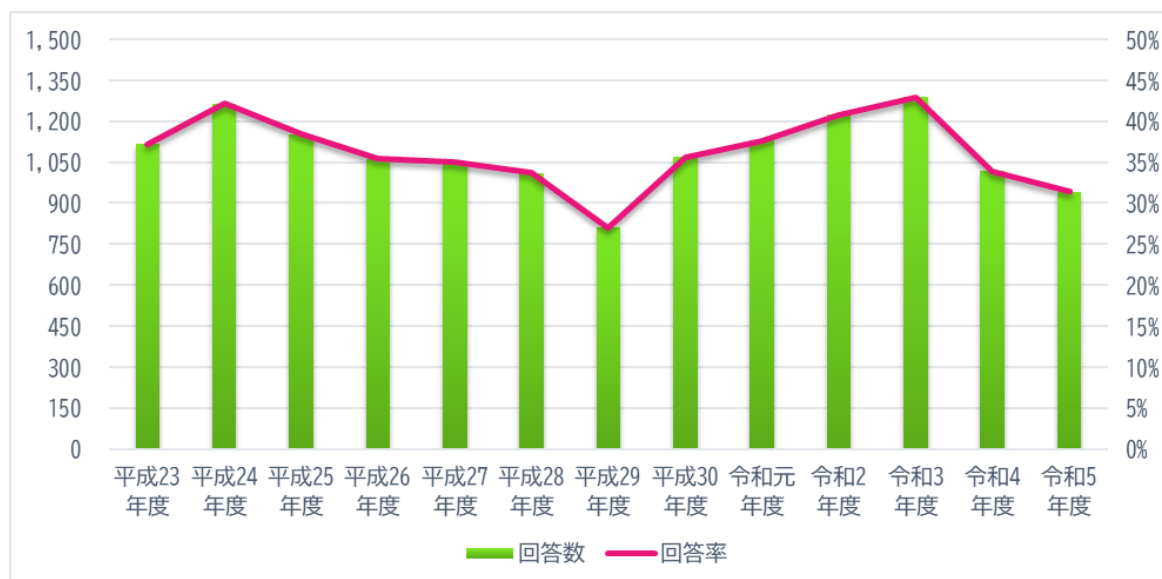
回答肢		回答数	割合
1	会社員（パート含む）	406	43.1%
2	自営業	66	7.0%
3	農林漁業	9	1.0%
4	公務員	55	5.8%
5	学生	11	1.2%
6	主婦・主夫	129	13.7%
7	無職	201	21.3%
8	その他	17	1.8%
9	無回答	48	5.1%
	合計	942	100.0%

《回答者の居住区》



回答肢		回答数	割合
1	中央区	211	22.4%
2	東区	234	24.8%
3	西区	119	12.6%
4	南区	161	17.1%
5	北区	170	18.0%
6	無回答	47	5.0%
	合計	942	100.0%

《これまでの回答数と回答率の推移》



年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
回答数 (人)	1,117	1,264	1,152	1,062	1,051	1,010	811	1,068
回答率 (%)	37.23	42.13	38.40	35.40	35.03	33.67	27.03	35.60

年度	R1	R2	R3	R4	R5
回答数 (人)	1,130	1,223	1,288	1,016	942
回答率 (%)	37.67	40.77	42.93	33.87	31.40

備考 平成30年度からインターネットによる回答を開始している。

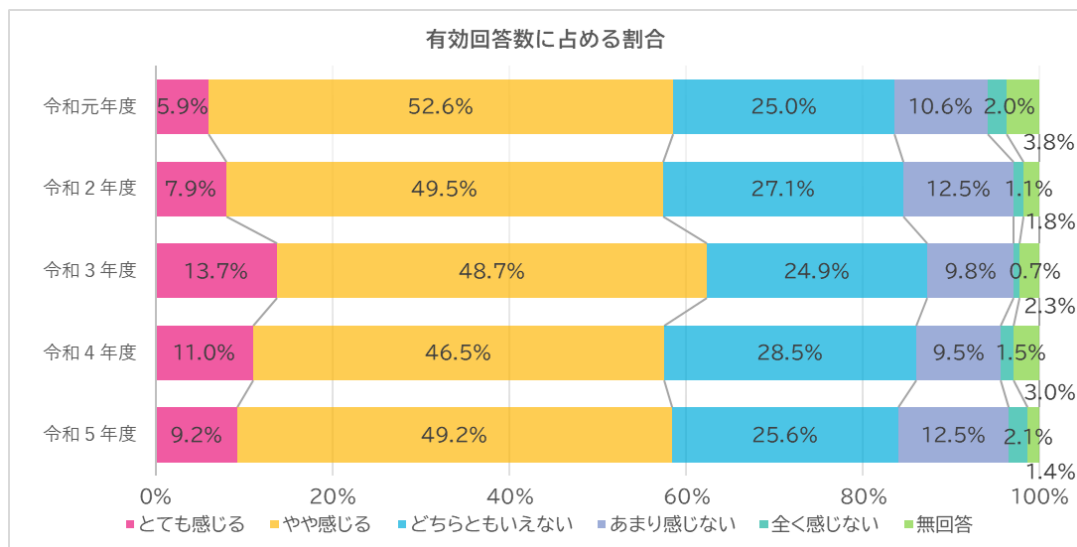
(2) 調査結果

■「熊本市の環境目標（基本計画）」について

問1. あなたは、熊本市の良好な環境が守られていると感じますか。（1つだけ）

「やや感じる」が49.2%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が25.6%、「あまり感じない」が12.5%となっている。

「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は58.4%で、前回調査と比較すると0.9ポイント増加している。



【回答者の属性別にみた結果】

年齢別：「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は20歳代が75.5%と最も高く、次いで80歳以上（62.7%）、70歳代（61.1%）となっている。

一方で「あまり感じない」と「全く感じない」を合わせた割合は10歳代が33.3%と最も高く、次いで50歳代（18.5%）、60歳代（16.4%）となっている。

職業別：「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は公務員が67.3%と最も高く、次いで主婦・主夫（64.4%）、無職（59.7%）となっている。

一方で「あまり感じない」と「全く感じない」を合わせた割合は農林漁業が33.3%と最も高く、次いでその他（29.4%）、学生（27.3%）となっている。

地区別：「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は北区が64.2%と最も高く、次いで南区（60.9%）、西区（56.3%）となっている。

一方で「あまり感じない」と「全く感じない」を合わせた割合は北区が14.7%、次いで西区（16.0%）、北区（14.7%）となっている。

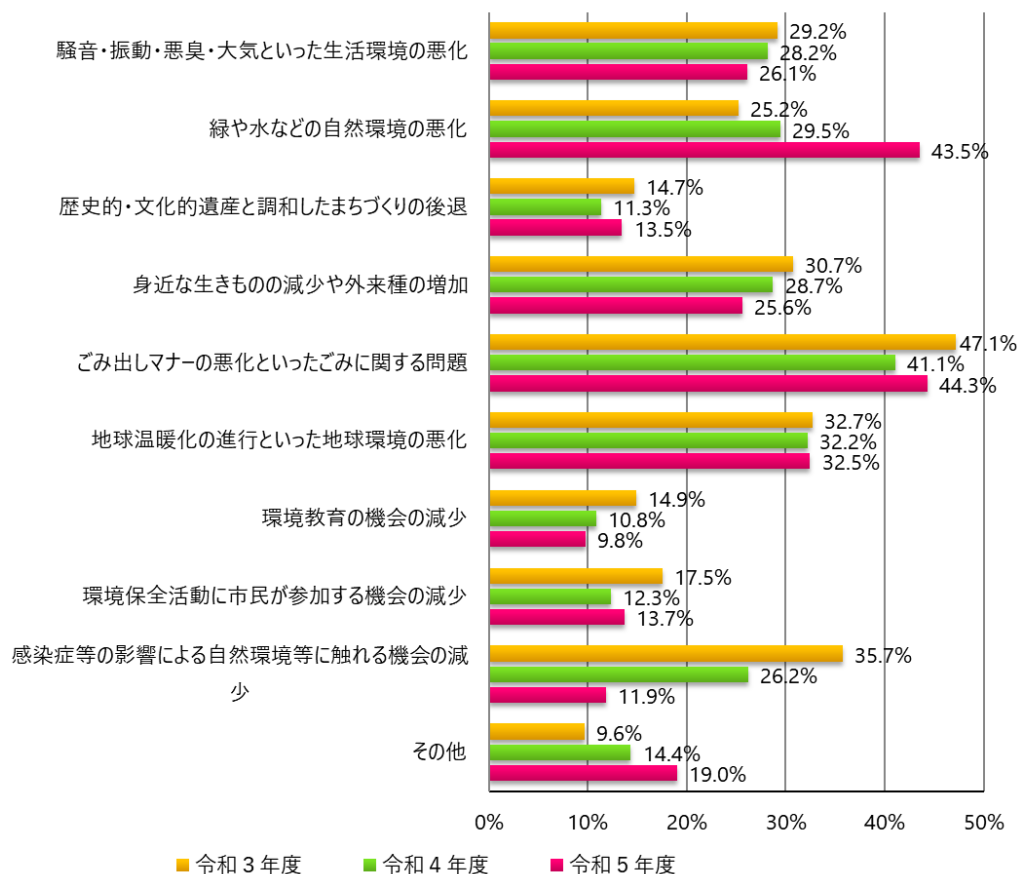
【属性別回答】

	合計	とても感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	全く感じない	無回答
全体	942	9.2%	49.2%	25.6%	12.5%	2.1%	1.4%
年齢別							
10 歳代	9	22.2%	22.2%	22.2%	33.3%	0.0%	0.0%
20 歳代	53	13.2%	62.3%	18.9%	5.7%	0.0%	0.0%
30 歳代	105	8.6%	49.5%	27.6%	12.4%	1.9%	0.0%
40 歳代	144	7.6%	46.5%	29.9%	11.8%	4.2%	0.0%
50 歳代	146	6.2%	40.4%	34.9%	17.1%	1.4%	0.0%
60 歳代	170	8.2%	50.0%	24.7%	12.9%	3.5%	0.6%
70 歳代	188	7.4%	53.7%	21.8%	13.3%	1.1%	2.7%
80 歳以上	83	18.1%	44.6%	21.7%	9.6%	0.0%	6.0%
職業別							
会社員	406	7.4%	46.8%	29.6%	13.8%	2.0%	0.5%
自営業	66	9.1%	43.9%	25.8%	16.7%	4.5%	0.0%
農林漁業	9	11.1%	44.4%	0.0%	22.2%	11.1%	11.1%
公務員	55	18.2%	49.1%	18.2%	10.9%	3.6%	0.0%
学生	11	9.1%	45.5%	18.2%	27.3%	0.0%	0.0%
主婦・主夫	129	7.8%	56.6%	25.6%	7.0%	0.0%	3.1%
無職	201	10.4%	49.3%	24.4%	11.9%	2.0%	2.0%
その他	17	11.8%	41.2%	17.6%	29.4%	0.0%	0.0%
地区別							
中央区	211	9.5%	45.5%	25.1%	16.1%	2.4%	1.4%
東区	234	11.5%	42.3%	29.9%	13.7%	0.9%	1.7%
西区	119	7.6%	48.7%	26.1%	12.6%	3.4%	1.7%
南区	161	8.1%	52.8%	28.6%	8.1%	1.2%	1.2%
北区	170	7.1%	57.1%	21.2%	11.8%	2.9%	0.0%

問1-1. 問1で3、4、5を選択された方にお尋ねします。

どちらともいえない、あまり感じない、全く感じないと思われる理由は何ですか。(いくつかつでも可)

問1.で「どちらともいえない」、「あまり感じない」、「全く感じない」と回答した379人については、「ごみ出しマナーの悪化といったごみに関する問題」が44.3%と最も高く、次いで「緑や水などの自然環境の悪化」が43.5%、「地球温暖化の進行といった地球環境の悪化」が32.5%となっている。



【参考】

「その他」の内容

- ◇ 生活環境について（13 件）
 - ・ 熊本市街に行くと鳥の糞が多く、足の踏み場がないくらい落ちている。
 - ・ ごみ収集の時間が遅く、カラスなどに荒らされ道路に散乱している。
- ◇ 都市、道路、交通環境について（24 件）
 - ・ 外灯が少ない。
 - ・ 道路の木や草が伸び放題で汚い、視界をジャマして見づらい。
 - ・ 渋滞が多い。歩道が少ない。
 - ・ ここ数年、道路の白線、横断歩道の白線等消失して悪化。
- ◇ 行政の取組について（1 件）
 - ・ 公園の除草がされていない。
- ◇ 自然環境について（9 件）
 - ・ 熊本市の地下水質の悪化（硝酸性窒素の増加）。
 - ・ 企業誘致による環境汚染。
- ◇ 意識について（7 件）
 - ・ 喫煙者のマナーの悪さが目立つ。
 - ・ ペットのマナー違反（道路や民家の敷地内で糞尿の未処理、公園でのリード外しなど）。
 - ・ 弁当の食べ殻、ペットボトル、缶のポイ捨てが多い。
 - ・ 空き缶等の資源ごみの持ち去り。
- ◇ その他（19 件）
 - ・ 問題があると感じない。
 - ・ 良好な環境という将来のビジョンが見えない。

【属性別回答】

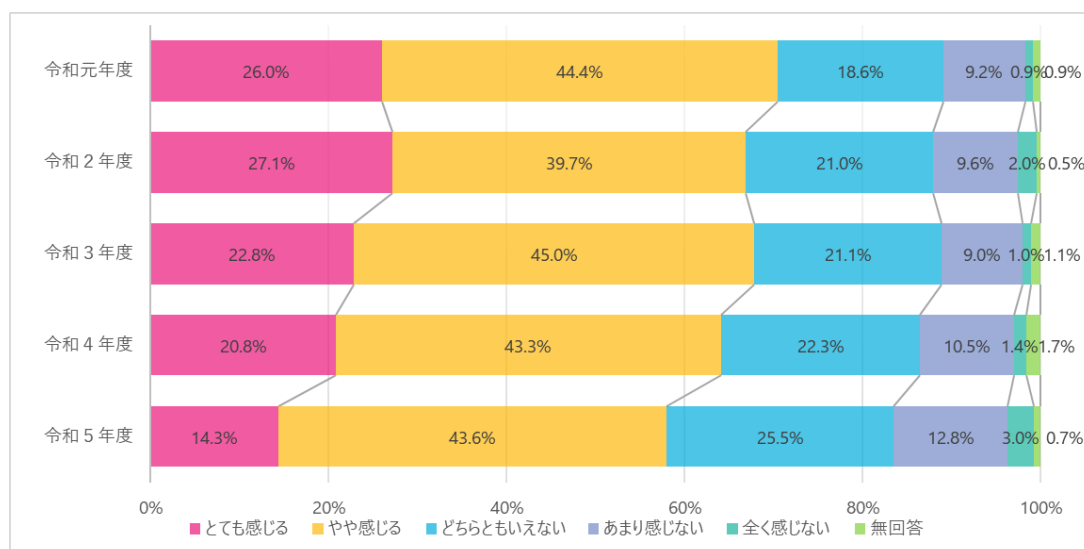
	合計	騒音・振動・悪臭・大気といった生活環境の悪化	緑や水などの自然環境の悪化	歴史的・文化的遺産と調和したまちづくりの後退	身近な生きものの減少や外来種の増加	ごみ出しマナーの悪化といったごみに関する問題	地球温暖化の進行といった地球環境の悪化	環境教育の機会の減少	環境保全活動に市民が参加する機会の減少	感染症等の影響による自然環境等に触れる機会の減少	その他
全体	379	26.1%	43.5%	13.5%	25.6%	44.3%	32.5%	9.8%	13.7%	11.9%	19.0%
年齢別											
10 歳代	5	20.0%	0.0%	0.0%	40.0%	40.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
20 歳代	13	38.5%	53.8%	15.4%	7.7%	30.8%	0.0%	7.7%	0.0%	7.7%	7.7%
30 歳代	44	38.6%	29.5%	18.2%	18.2%	50.0%	27.3%	6.8%	9.1%	15.9%	18.2%
40 歳代	66	19.7%	36.4%	12.1%	21.2%	37.9%	28.8%	7.6%	3.0%	12.1%	21.2%
50 歳代	78	24.4%	46.2%	10.3%	21.8%	44.9%	35.9%	5.1%	17.9%	14.1%	19.2%
60 歳代	70	31.4%	48.6%	15.7%	32.9%	44.3%	35.7%	10.0%	15.7%	7.1%	18.6%
70 歳代	68	22.1%	51.5%	14.7%	27.9%	50.0%	38.2%	19.1%	17.6%	10.3%	23.5%
80 歳以上	26	19.2%	38.5%	11.5%	38.5%	38.5%	30.8%	11.5%	30.8%	15.4%	15.4%
職業別											
会社員	184	23.9%	40.8%	11.4%	18.5%	41.3%	30.4%	9.2%	11.4%	13.6%	16.3%
自営業	31	35.5%	45.2%	25.8%	19.4%	48.4%	35.5%	12.9%	3.2%	3.2%	22.6%
農林漁業	3	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	33.3%
公務員	18	27.8%	50.0%	16.7%	44.4%	55.6%	33.3%	5.6%	11.1%	16.7%	27.8%
学生	5	20.0%	0.0%	0.0%	40.0%	40.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
主婦・主夫	42	26.2%	38.1%	7.1%	38.1%	45.2%	42.9%	4.8%	16.7%	14.3%	11.9%
無職	77	26.0%	48.1%	19.5%	32.5%	46.8%	29.9%	13.0%	20.8%	10.4%	23.4%
その他	8	37.5%	62.5%	0.0%	25.0%	50.0%	37.5%	12.5%	37.5%	0.0%	62.5%
地区別											
中央区	92	31.5%	45.7%	15.2%	21.7%	45.7%	28.3%	14.1%	13.0%	9.8%	23.9%
東区	104	19.2%	48.1%	13.5%	25.0%	42.3%	33.7%	12.5%	14.4%	10.6%	20.2%
西区	50	28.0%	38.0%	10.0%	22.0%	42.0%	34.0%	6.0%	18.0%	10.0%	16.0%
南区	61	27.9%	34.4%	8.2%	26.2%	49.2%	24.6%	4.9%	8.2%	13.1%	14.8%
北区	61	27.9%	41.0%	16.4%	32.8%	41.0%	41.0%	4.9%	16.4%	16.4%	18.0%

問2. 熊本市民の共有財産である地下水が、市民、事業者、行政の保全活動により守られていると感じますか。(1つだけ)

「やや感じる」が43.6%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が25.5%、「とても感じる」が14.3%となっている。

「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は57.9%で、前回調査と比較すると6.2ポイント減少している。

令和3年以降、「とても感じる」または「やや感じる」と回答した割合は減少している。



【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は80歳以上が71.1%と最も高く、次いで70歳代（68.1%）、20歳代（67.9%）となっている。

地区別：「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は西区が63.0%と最も高く、次いで南区（60.2%）、東区（59.0%）となっている。

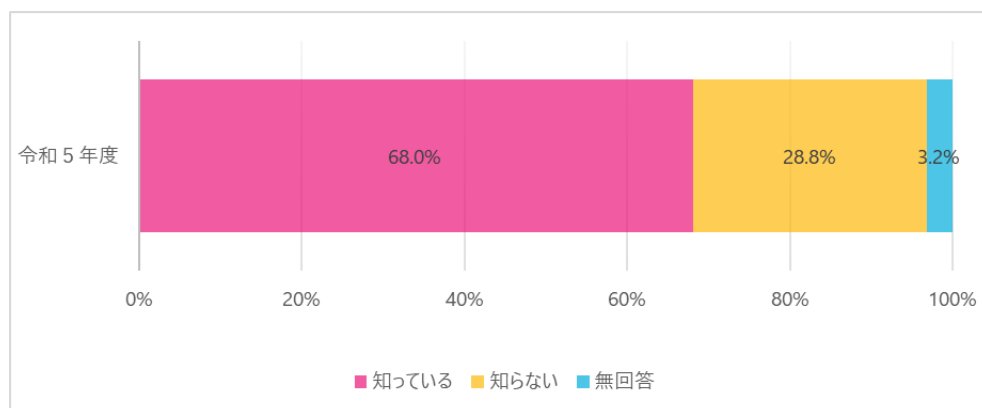
【属性別回答】

	合計	とても感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	全く感じない	無回答
全体	942	14.3%	43.6%	25.5%	12.8%	3.0%	0.7%
年齢別							
10 歳代	9	22.2%	22.2%	44.4%	11.1%	0.0%	0.0%
20 歳代	53	26.4%	41.5%	22.6%	9.4%	0.0%	0.0%
30 歳代	105	7.6%	43.8%	32.4%	12.4%	3.8%	0.0%
40 歳代	144	12.5%	41.7%	27.8%	14.6%	2.8%	0.7%
50 歳代	146	11.6%	39.0%	33.6%	12.3%	2.7%	0.7%
60 歳代	170	9.4%	43.5%	24.7%	17.1%	5.3%	0.0%
70 歳代	188	16.0%	52.1%	17.6%	11.7%	2.7%	0.0%
80 歳以上	83	22.9%	48.2%	16.9%	7.2%	1.2%	3.6%
職業別							
会社員	406	11.8%	41.4%	29.8%	13.8%	2.7%	0.5%
自営業	66	9.1%	45.5%	19.7%	21.2%	4.5%	0.0%
農林漁業	9	11.1%	33.3%	33.3%	11.1%	11.1%	0.0%
公務員	55	20.0%	41.8%	23.6%	10.9%	3.6%	0.0%
学生	11	18.2%	36.4%	36.4%	9.1%	0.0%	0.0%
主婦・主夫	129	14.0%	50.4%	24.8%	8.5%	1.6%	0.8%
無職	201	17.4%	48.8%	18.9%	11.4%	2.5%	1.0%
その他	17	23.5%	47.1%	23.5%	0.0%	5.9%	0.0%
地区別							
中央区	211	12.3%	41.2%	22.7%	17.5%	5.2%	0.9%
東区	234	17.5%	41.5%	25.6%	14.1%	1.3%	0.0%
西区	119	13.4%	49.6%	21.8%	13.4%	1.7%	0.0%
南区	161	14.9%	45.3%	28.0%	8.1%	2.5%	1.2%
北区	170	10.6%	48.2%	28.2%	8.8%	4.1%	0.0%

問3. 私たちの暮らしに欠かせない水や酸素、食や地域特有の文化などが「生物多様性」からもたらされたものであると知っていますか。(1つだけ)

※令和5年度より、新規で設問を追加し調査を行った。

「知っている」が68.0%、「知らない」が28.8%となっている。



【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「知っている」は10歳代が88.9%と最も高く、次いで40歳代（76.4%）、50歳代（72.6%）となっている。

職業別：「知っている」は学生が90.9%と最も高く、次いで公務員（80.0%）、自営業（74.2%）となっている。

地区別：「知っている」は中央区が70.6%と最も高く、次いで東区（69.7%）、西区（68.9%）となっている。

【属性別回答】

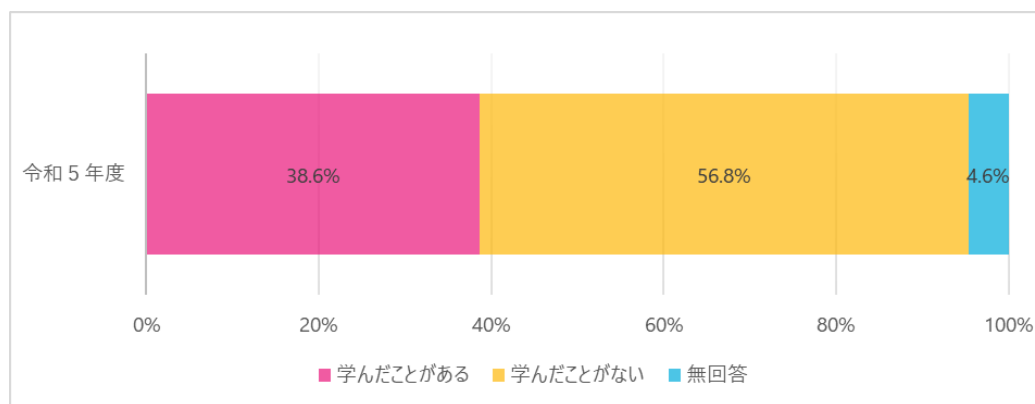
	合計	知っている	知らない	無回答
全体	942	68.0%	28.8%	3.2%
年齢別				
10 歳代	9	88.9%	11.1%	0.0%
20 歳代	53	58.5%	39.6%	1.9%
30 歳代	105	68.6%	31.4%	0.0%
40 歳代	144	76.4%	22.9%	0.7%
50 歳代	146	72.6%	25.3%	2.1%
60 歳代	170	69.4%	28.8%	1.8%
70 歳代	188	62.8%	31.4%	5.9%
80 歳以上	83	57.8%	33.7%	8.4%
職業別				
会社員	406	70.7%	28.1%	1.2%
自営業	66	74.2%	21.2%	4.5%
農林漁業	9	66.7%	22.2%	11.1%
公務員	55	80.0%	20.0%	0.0%
学生	11	90.9%	9.1%	0.0%
主婦・主夫	129	59.7%	38.8%	1.6%
無職	201	62.2%	30.8%	7.0%
その他	17	70.6%	23.5%	5.9%
地区別				
中央区	211	70.6%	25.6%	3.8%
東区	234	69.7%	28.2%	2.1%
西区	119	68.9%	30.3%	0.8%
南区	161	62.1%	33.5%	4.3%
北区	170	67.1%	30.0%	2.9%

問4. あなたはこれまでに「生物多様性」について、学んだことはありますか。

(1つだけ)

※令和5年度より、新規で設問を追加し調査を行った。

「学んだことがない」が56.8%、「学んだことがある」が38.6%となっている。



【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「学んだことがある」は10歳代が88.9%と最も高く、20歳代（62.3%）、40歳代（50.0%）となっている。

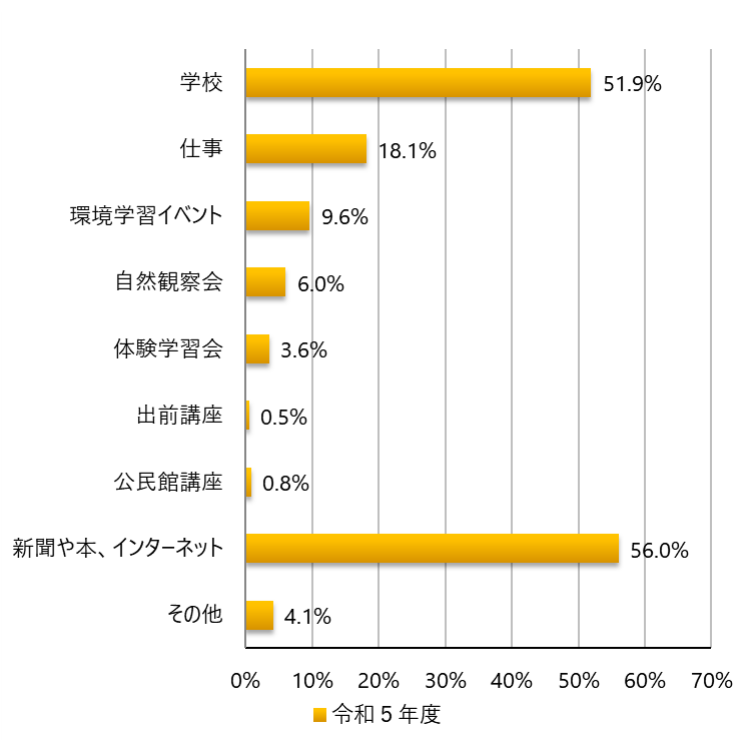
職業別：「学んだことがある」は学生が90.9%と他の年代より高く、次いで公務員が61.8%となっている。「学んだことがない」はその他が70.6%と最も高く、次いで主婦・主夫（67.4%）、無職（61.7%）となっている。

【属性別回答】

	合計	学んだことがある	学んだことがない	無回答
全体	942	38.6%	56.8%	4.6%
年齢別				
10 歳代	9	88.9%	11.1%	0.0%
20 歳代	53	62.3%	11.1%	26.6%
30 歳代	105	44.8%	11.1%	44.1%
40 歳代	144	50.0%	49.3%	0.7%
50 歳代	146	40.4%	56.2%	3.4%
60 歳代	170	32.9%	63.5%	3.5%
70 歳代	188	29.3%	61.7%	9.0%
80 歳以上	83	22.9%	67.5%	9.6%
職業別				
会社員	406	43.1%	55.2%	1.7%
自営業	66	40.9%	53.0%	6.1%
農林漁業	9	44.4%	44.4%	11.1%
公務員	55	61.8%	38.2%	0.0%
学生	11	90.9%	9.1%	0.0%
主婦・主夫	129	27.1%	67.4%	5.4%
無職	201	29.9%	61.7%	8.5%
その他	17	23.5%	70.6%	5.9%
地区別				
中央区	211	38.4%	55.9%	5.7%
東区	234	46.6%	49.6%	3.8%
西区	119	35.3%	62.2%	2.5%
南区	161	34.2%	60.2%	5.6%
北区	170	35.9%	60.6%	3.5%

問４－１．問４で１を選択された方にお尋ねします。どのような方法で学びましたか。（いくつかつでも可）

「新聞や本、インターネット」が 56.0%と最も高く、次いで「学校」が 51.9%、「仕事」が 18.1%となっている。



【参考】

「その他」の回答

- ・テレビ番組。
- ・造園学校で学んだことがある。
- ・本、漫画、アニメ。
- ・登山。
- ・業務で生物多様性研修を受講した。

【属性別回答】

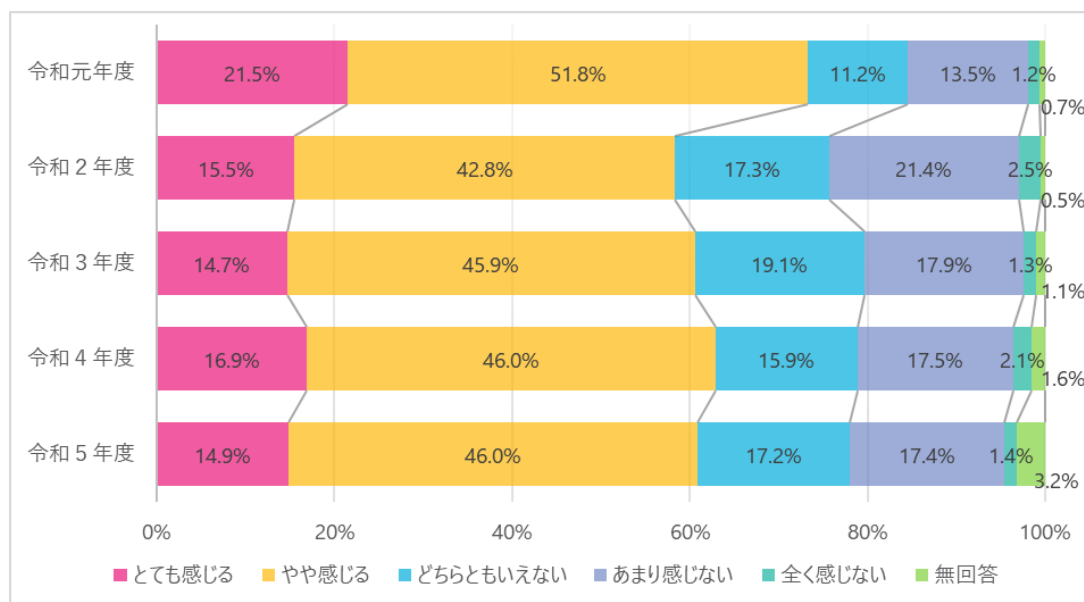
	合計	学校	仕事	環境学習イベント	自然観察会	体験学習会	出前講座	公民館講座	新聞や本、インターネット	その他
全体	364	51.9%	18.1%	9.6%	6.0%	3.6%	0.5%	0.8%	56.0%	4.1%
年齢別										
10 歳代	5	140.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	20.0%
20 歳代	13	207.7%	38.5%	7.7%	15.4%	7.7%	0.0%	0.0%	46.2%	7.7%
30 歳代	44	79.5%	15.9%	6.8%	6.8%	2.3%	0.0%	0.0%	29.5%	0.0%
40 歳代	66	77.3%	19.7%	15.2%	4.5%	0.0%	0.0%	1.5%	59.1%	4.5%
50 歳代	78	33.3%	14.1%	10.3%	1.3%	2.6%	2.6%	0.0%	50.0%	1.3%
60 歳代	70	18.6%	21.4%	8.6%	5.7%	5.7%	0.0%	0.0%	58.6%	8.6%
70 歳代	68	23.5%	17.6%	5.9%	7.4%	5.9%	0.0%	2.9%	58.8%	2.9%
80 歳以上	26	23.1%	11.5%	7.7%	7.7%	0.0%	0.0%	0.0%	57.7%	3.8%
職業別										
会社員	184	58.7%	14.7%	10.3%	6.0%	2.7%	0.0%	1.1%	44.0%	1.6%
自営業	31	38.7%	19.4%	9.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	58.1%	6.5%
農林漁業	3	66.7%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
公務員	18	94.4%	88.9%	22.2%	11.1%	0.0%	5.6%	0.0%	105.6%	11.1%
学生	5	180.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	20.0%
主婦・主夫	42	31.0%	2.4%	7.1%	4.8%	0.0%	2.4%	0.0%	64.3%	2.4%
無職	77	24.7%	16.9%	5.2%	6.5%	6.5%	0.0%	1.3%	54.5%	7.8%
その他	8	25.0%	12.5%	12.5%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	37.5%	0.0%
地区別										
中央区	92	46.7%	18.5%	14.1%	6.5%	5.4%	0.0%	2.2%	54.3%	3.3%
東区	104	51.0%	23.1%	10.6%	4.8%	3.8%	1.0%	0.0%	59.6%	2.9%
西区	50	38.0%	18.0%	4.0%	6.0%	0.0%	0.0%	0.0%	48.0%	10.0%
南区	61	60.7%	11.5%	4.9%	0.0%	0.0%	0.0%	1.6%	31.1%	3.3%
北区	61	45.9%	13.1%	8.2%	9.8%	4.9%	1.6%	0.0%	65.6%	3.3%

問5. 熊本市の中心市街地に緑が多いと感じますか。(1つだけ)

※令和2年度より「熊本市の街なかに緑が多いと感じますか」との設問を修正したものである。

「やや感じる」が46.0%と最も高く、次いで「あまり感じない」が17.4%、「どちらともいえない」が17.2%となっている。

「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は60.9%で、前回調査と比較すると2.0ポイント減少している。



【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は10歳代が66.7%、次いで70歳代(64.8%)、20歳代(62.2%)となっている。

職業別：「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は学生が72.7%と最も高く、次いで農林漁業(66.6%)、公務員(65.4%)となっている。

地区別：「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は南区が67.7%と最も高く、次いで西区(64.7%)、中央区(58.3%)となっている。

【属性別回答】

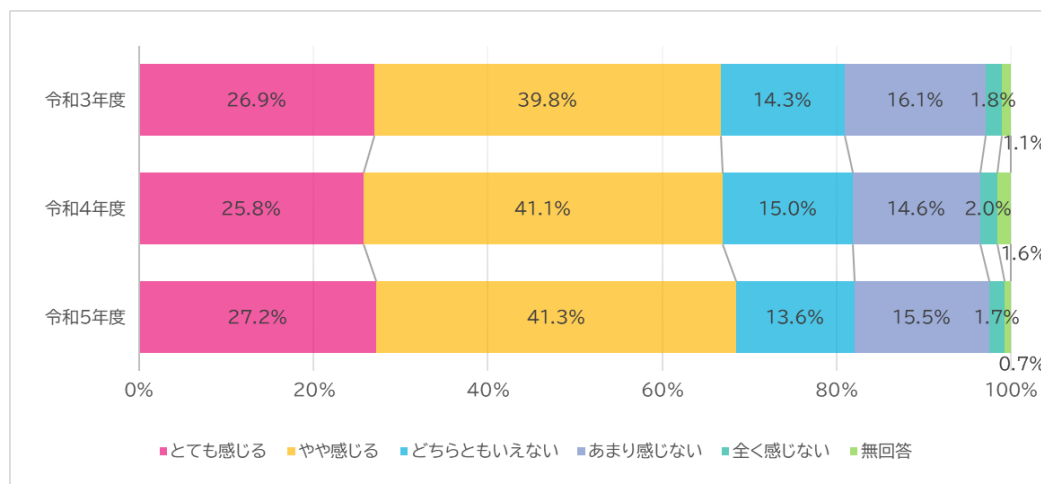
	合計	とても感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	全く感じない	無回答
全体	942	14.9%	46.0%	17.2%	17.4%	1.4%	3.2%
年齢別							
10 歳代	9	11.1%	55.6%	11.1%	22.2%	0.0%	0.0%
20 歳代	53	7.5%	54.7%	15.1%	17.0%	3.8%	1.9%
30 歳代	105	8.6%	39.0%	24.8%	25.7%	1.9%	0.0%
40 歳代	144	11.8%	50.0%	20.1%	16.7%	0.7%	0.7%
50 歳代	146	13.0%	47.3%	18.5%	16.4%	1.4%	3.4%
60 歳代	170	17.1%	43.5%	12.9%	22.9%	1.8%	1.8%
70 歳代	188	20.7%	44.1%	14.4%	12.8%	1.1%	6.9%
80 歳以上	83	19.3%	42.2%	20.5%	10.8%	1.2%	6.0%
職業別							
会社員	406	13.1%	45.6%	18.0%	20.4%	1.7%	1.2%
自営業	66	22.7%	42.4%	12.1%	16.7%	3.0%	3.0%
農林漁業	9	22.2%	44.4%	0.0%	22.2%	0.0%	11.1%
公務員	55	10.9%	54.5%	16.4%	16.4%	1.8%	0.0%
学生	11	18.2%	54.5%	9.1%	18.2%	0.0%	0.0%
主婦・主夫	129	11.6%	53.5%	19.4%	13.2%	0.0%	2.3%
無職	201	19.9%	39.8%	17.4%	13.4%	1.5%	8.0%
その他	17	5.9%	41.2%	23.5%	23.5%	0.0%	5.9%
地区別							
中央区	211	14.7%	43.6%	14.7%	20.4%	2.8%	3.8%
東区	234	13.7%	44.0%	18.8%	18.8%	1.7%	3.0%
西区	119	14.3%	50.4%	19.3%	13.4%	0.8%	1.7%
南区	161	15.5%	52.2%	15.5%	11.2%	0.6%	5.0%
北区	170	15.9%	41.8%	19.4%	20.6%	0.6%	1.8%

問6. お住まいの周りに緑が多いと感じますか。(1つだけ)

※令和3年度より「緑の基本計画」の検証指標として新規で設問を追加したものである。

「やや感じる」が41.3%と最も高く、次いで「とても感じる」が27.2%、「あまり感じない」が15.5%となっている。

「とても感じる」、「やや感じる」を合わせた割合は68.5%で、前回の調査と比較すると1.6ポイント増加している。



【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は80歳以上が77.1%と最も高く、次いで40歳代（71.5%）、70歳代（69.2%）となっている。

職業別：「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は主婦・主夫が79.1%と最も高く、次いで農林漁業（77.8%）、その他（76.5%）となっている。

地区別：「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は西区が78.1%と最も高く、次いで北区（74.7%）、南区（69.6%）となっている。

【属性別回答】

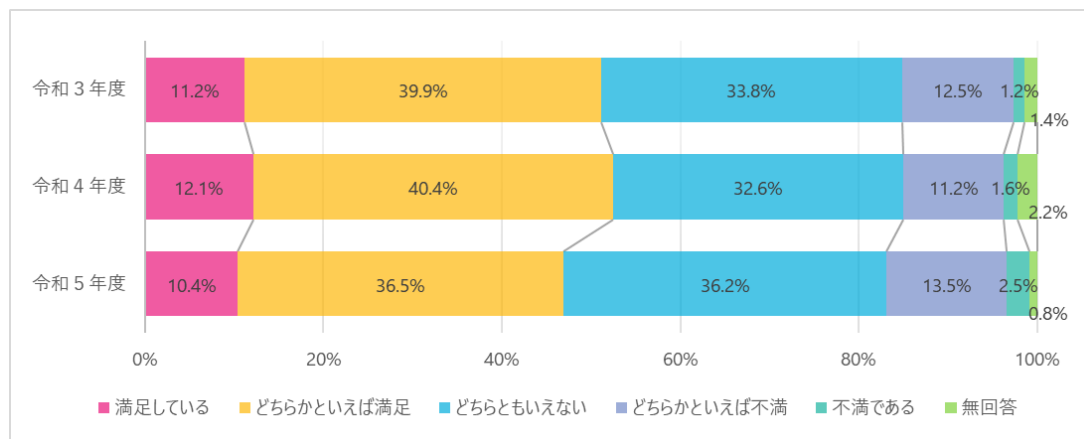
	合計	とても感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	全く感じない	無回答
全体	942	27.2%	41.3%	13.6%	15.5%	1.7%	0.7%
年齢別							
10 歳代	9	33.3%	22.2%	11.1%	33.3%	0.0%	0.0%
20 歳代	53	26.4%	30.2%	18.9%	24.5%	0.0%	0.0%
30 歳代	105	18.1%	41.9%	12.4%	24.8%	2.9%	0.0%
40 歳代	144	26.4%	45.1%	11.8%	16.0%	0.7%	0.0%
50 歳代	146	24.7%	41.8%	17.8%	13.7%	2.1%	0.0%
60 歳代	170	30.0%	38.8%	12.4%	15.3%	2.4%	1.2%
70 歳代	188	30.9%	38.3%	15.4%	11.7%	2.1%	1.6%
80 歳以上	83	26.5%	50.6%	9.6%	10.8%	0.0%	2.4%
職業別							
会社員	406	24.6%	39.9%	15.8%	18.5%	1.0%	0.2%
自営業	66	25.8%	37.9%	13.6%	19.7%	1.5%	1.5%
農林漁業	9	66.7%	11.1%	11.1%	0.0%	0.0%	11.1%
公務員	55	30.9%	43.6%	7.3%	18.2%	0.0%	0.0%
学生	11	27.3%	36.4%	9.1%	27.3%	0.0%	0.0%
主婦・主夫	129	34.9%	44.2%	11.6%	8.5%	0.8%	0.0%
無職	201	23.9%	43.3%	13.4%	13.4%	4.5%	1.5%
その他	17	29.4%	47.1%	5.9%	11.8%	0.0%	5.9%
地区別							
中央区	211	19.4%	40.3%	15.6%	19.9%	2.8%	1.9%
東区	234	19.2%	44.9%	17.5%	15.8%	2.6%	0.0%
西区	119	36.1%	42.0%	10.1%	10.1%	0.8%	0.8%
南区	161	31.1%	38.5%	12.4%	16.8%	0.6%	0.6%
北区	170	35.3%	39.4%	10.6%	13.5%	0.6%	0.6%

問7. 中心市街地の「緑の質」に満足していますか。（1つだけ）

※令和3年度より「緑の基本計画」の検証指標として新規で設問を追加したものである。

「どちらかといえば満足」が36.5%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が36.2%、「どちらかといえば不満」が13.5%となっている。

「満足している」と「どちらかといえば満足」を合わせた割合は46.9%で、前回の調査と比較すると5.6ポイント減少している。



【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「満足している」と「どちらかといえば満足」を合わせた割合は20歳代が52.8%と最も高く、次いで80歳以上が（51.8%）、40歳代（50.0%）となっている。

職業別：「満足している」と「どちらかといえば満足」を合わせた割合は公務員が61.8%と最も高く、次いで農林漁業（55.5%）、学生（54.6%）となっている。

地区別：「満足している」と「どちらかといえば満足」を合わせた割合は西区が59.7%と最も高く、次いで南区（54.6%）、北区（45.8%）となっている。

【属性別回答】

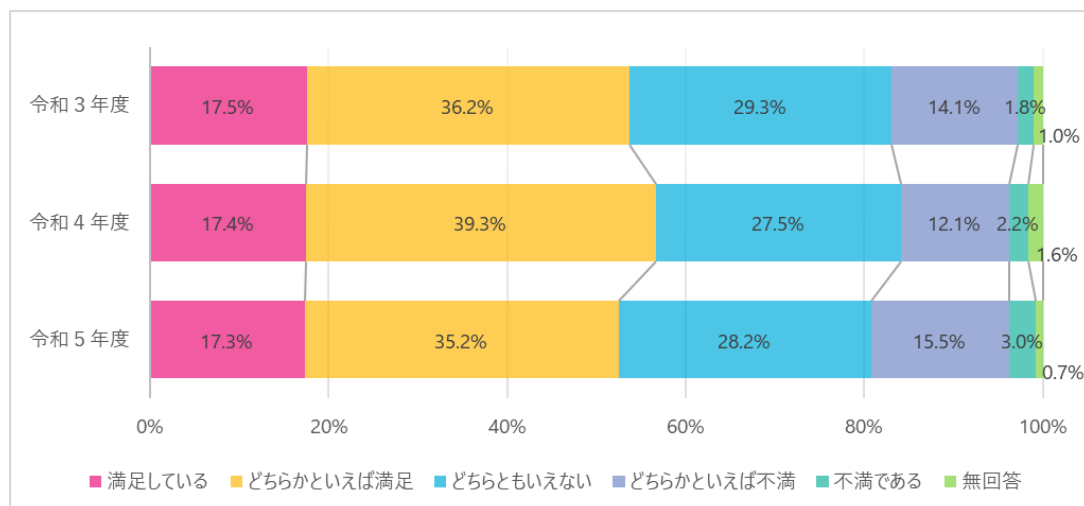
	合計	満足している	どちらかといえば満足	どちらともいえない	どちらかといえば不満	不満である	無回答
全体	942	10.4%	36.5%	36.2%	13.5%	2.5%	0.8%
年齢別							
10 歳代	9	22.2%	22.2%	44.4%	11.1%	0.0%	0.0%
20 歳代	53	7.5%	45.3%	35.8%	9.4%	1.9%	0.0%
30 歳代	105	2.9%	42.9%	38.1%	14.3%	1.9%	0.0%
40 歳代	144	11.8%	38.2%	34.0%	14.6%	1.4%	0.0%
50 歳代	146	8.2%	32.2%	41.1%	15.1%	3.4%	0.0%
60 歳代	170	8.8%	33.5%	35.9%	16.5%	3.5%	1.8%
70 歳代	188	12.8%	36.7%	36.2%	10.1%	2.7%	1.6%
80 歳以上	83	16.9%	34.9%	32.5%	12.0%	1.2%	2.4%
職業別							
会社員	406	9.4%	35.7%	37.9%	14.5%	2.0%	0.5%
自営業	66	18.2%	28.8%	36.4%	12.1%	3.0%	1.5%
農林漁業	9	11.1%	44.4%	22.2%	11.1%	0.0%	11.1%
公務員	55	9.1%	52.7%	23.6%	9.1%	5.5%	0.0%
学生	11	9.1%	45.5%	36.4%	9.1%	0.0%	0.0%
主婦・主夫	129	10.9%	41.9%	37.2%	10.1%	0.0%	0.0%
無職	201	10.0%	32.8%	37.8%	13.4%	4.5%	1.5%
その他	17	5.9%	29.4%	17.6%	41.2%	0.0%	5.9%
地区別							
中央区	211	7.6%	36.0%	33.6%	17.1%	3.8%	1.9%
東区	234	11.1%	26.9%	43.6%	16.2%	2.1%	0.0%
西区	119	11.8%	47.9%	27.7%	8.4%	2.5%	1.7%
南区	161	13.0%	41.6%	34.8%	9.3%	0.6%	0.6%
北区	170	7.6%	38.2%	38.8%	11.8%	2.9%	0.6%

問 8. お住まいの周りの「緑の質」に満足していますか。(1 つだけ)

※令和 3 年度より「緑の基本計画」の検証指標として新規で設問を追加したものである。

「どちらかといえば満足」が 35.2%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が 28.2%、「満足している」が 17.3%となっている。

「満足している」と「どちらかといえば満足」を合わせた割合は 52.5%で、前回の調査と比較すると 4.2 ポイント減少している。



【回答者の属性別に見た結果】

年代別：「満足している」と「どちらかといえば満足」を合わせた割合は 80 歳以上が 61.4%と最も高く、次いで 70 歳代 (56.4%)、40 歳代 (56.2%) となっている。

職業別：「満足している」と「どちらかといえば満足」を合わせた割合は農林漁業が 66.6%と最も高く、次いで公務員 (61.8%)、主婦・主夫 (60.5%) となっている。

地区別：「満足している」と「どちらかといえば満足」を合わせた割合は西区が 61.4%と最も高く、次いで南区 (60.3%)、北区 (51.8%) となっている。

【属性別回答】

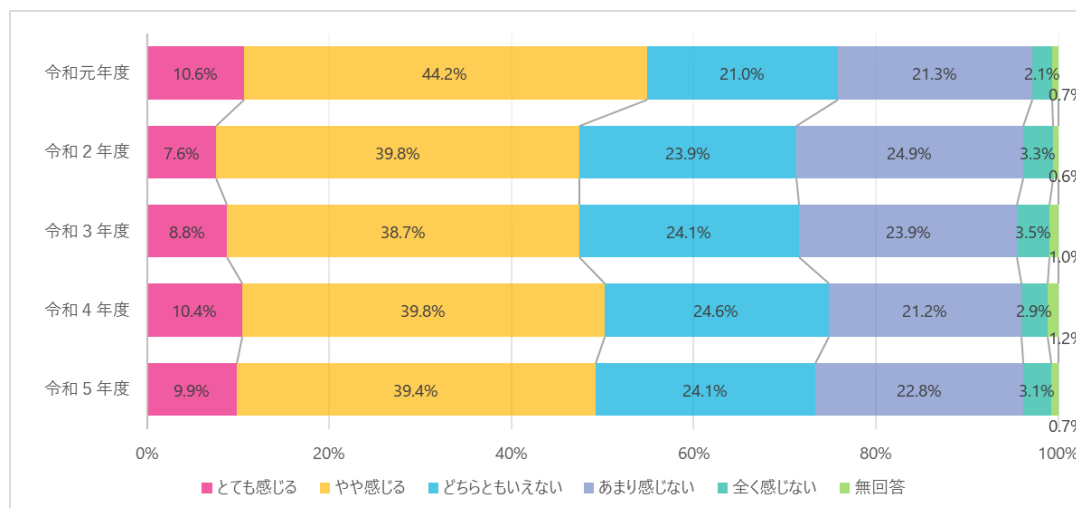
	合計	満足している	どちらかといえば満足	どちらともいえない	どちらかといえば不満	不満である	無回答
全体	942	17.3%	35.2%	28.2%	15.5%	3.0%	0.7%
年齢別							
10 歳代	9	22.2%	11.1%	44.4%	22.2%	0.0%	0.0%
20 歳代	53	20.8%	30.2%	30.2%	17.0%	1.9%	0.0%
30 歳代	105	12.4%	37.1%	32.4%	16.2%	1.9%	0.0%
40 歳代	144	21.5%	34.7%	28.5%	13.2%	2.1%	0.0%
50 歳代	146	13.7%	34.9%	29.5%	17.1%	4.8%	0.0%
60 歳代	170	12.4%	35.3%	29.4%	17.6%	4.1%	1.2%
70 歳代	188	19.7%	36.7%	23.9%	14.9%	3.2%	1.6%
80 歳以上	83	25.3%	36.1%	24.1%	10.8%	1.2%	2.4%
職業別							
会社員	406	17.0%	33.3%	30.5%	16.3%	2.7%	0.2%
自営業	66	13.6%	37.9%	31.8%	12.1%	3.0%	1.5%
農林漁業	9	44.4%	22.2%	11.1%	11.1%	0.0%	11.1%
公務員	55	18.2%	43.6%	21.8%	14.5%	1.8%	0.0%
学生	11	18.2%	27.3%	36.4%	18.2%	0.0%	0.0%
主婦・主夫	129	19.4%	41.1%	25.6%	12.4%	1.6%	0.0%
無職	201	16.9%	33.8%	25.4%	16.9%	5.5%	1.5%
その他	17	17.6%	41.2%	11.8%	23.5%	0.0%	5.9%
地区別							
中央区	211	13.3%	31.8%	33.6%	16.1%	3.3%	1.9%
東区	234	15.4%	34.6%	29.9%	17.1%	3.0%	0.0%
西区	119	26.9%	34.5%	25.2%	10.9%	2.5%	0.0%
南区	161	19.3%	41.0%	21.7%	15.5%	1.9%	0.6%
北区	170	15.3%	36.5%	28.2%	15.3%	3.5%	1.2%

問 9. 熊本市の地域ごとに、特色ある街並み（街並みや自然の風景）があると感じますか。

（1つだけ）

「やや感じる」が 39.4%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が 24.1%、「あまり感じない」が 22.8%となっている。

「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は 49.3%で、前回調査と比較すると 0.9 ポイント減少している。



【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は 10 歳代が 77.7%と最も高く、次いで 20 歳代（58.5%）、80 歳以上（54.2%）となっている。

職業別：「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は学生が 72.8%と最も高く、次いで農林漁業（66.6%）、主婦・主夫（56.6%）となっている。

地区別：「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は西区が 52.1%と最も高く、次いで東区（50.5%）、北区（48.8%）となっている。

【属性別回答】

	合計	とても感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	全く感じない	無回答
全体	942	9.9%	39.4%	24.1%	22.8%	3.1%	0.7%
年齢別							
10 歳代	9	33.3%	44.4%	22.2%	0.0%	0.0%	0.0%
20 歳代	53	26.4%	32.1%	26.4%	15.1%	0.0%	0.0%
30 歳代	105	13.3%	34.3%	25.7%	21.0%	5.7%	0.0%
40 歳代	144	9.7%	40.3%	20.8%	25.0%	4.2%	0.0%
50 歳代	146	8.2%	34.9%	25.3%	27.4%	4.1%	0.0%
60 歳代	170	8.2%	37.6%	26.5%	24.1%	2.4%	1.2%
70 歳代	188	6.4%	43.6%	24.5%	21.3%	2.7%	1.6%
80 歳以上	83	6.0%	48.2%	20.5%	21.7%	1.2%	2.4%
職業別							
会社員	406	9.6%	39.4%	23.9%	23.6%	3.2%	0.2%
自営業	66	13.6%	36.4%	24.2%	21.2%	3.0%	1.5%
農林漁業	9	22.2%	44.4%	11.1%	0.0%	11.1%	11.1%
公務員	55	14.5%	29.1%	30.9%	21.8%	3.6%	0.0%
学生	11	36.4%	36.4%	27.3%	0.0%	0.0%	0.0%
主婦・主夫	129	9.3%	47.3%	19.4%	22.5%	1.6%	0.0%
無職	201	7.0%	37.3%	27.9%	23.4%	3.0%	1.5%
その他	17	5.9%	41.2%	5.9%	29.4%	11.8%	5.9%
地区別							
中央区	211	10.0%	35.5%	18.0%	29.4%	5.2%	1.9%
東区	234	10.3%	40.2%	25.2%	22.6%	1.7%	0.0%
西区	119	10.9%	41.2%	29.4%	16.8%	1.7%	0.0%
南区	161	8.7%	39.8%	27.3%	20.5%	3.1%	0.6%
北区	170	9.4%	39.4%	24.7%	21.8%	3.5%	1.2%

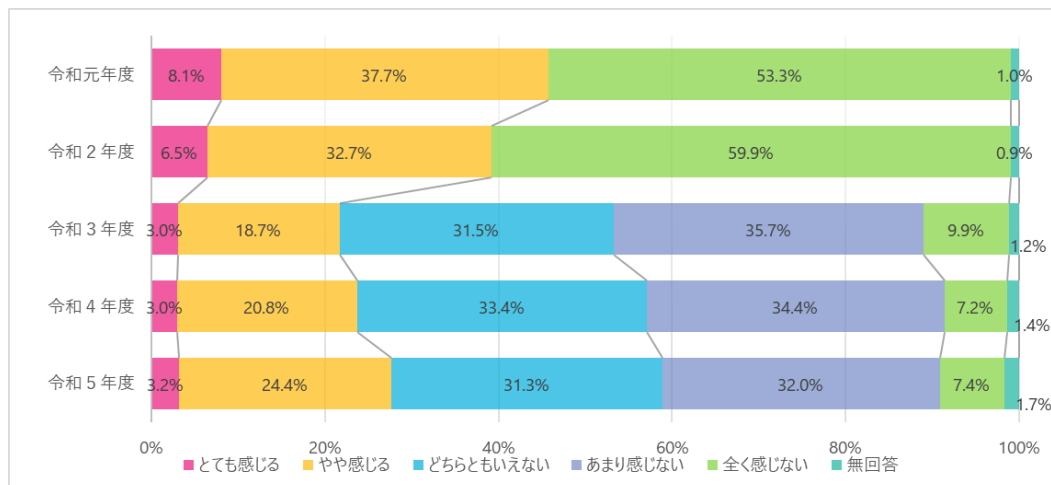
問 10. 環境について学ぶ機会（学習会やイベント等）が増えてきたと感じますか。

（1つだけ）

※令和4年度より、選択肢を「感じる」、「やや感じる」、「感じない」から、「とても感じる」、「やや感じる」、「どちらともいえない」、「あまり感じない」、「全く感じない」に変更したものである。

「あまり感じない」が32.0%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が31.3%、「やや感じる」が24.4%となっている。

「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は27.6%で、前回の調査と比較すると3.8ポイント増加している。



【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は80歳以上が40.9%と最も高く、次いで60歳代（31.1%）、70歳代（30.8%）となっている。

職業別：「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は農林漁業と無職が33.3%と最も高く、次いで公務員（29.1%）となっている。

地区別：「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は東区が30.4%と最も高く、次いで西区（29.5%）、北区（29.4%）となっている。

【属性別回答】

	合計	とても感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	全く感じない	無回答
全体	942	3.2%	24.4%	31.3%	32.0%	7.4%	1.7%
年齢別							
10 歳代	9	0.0%	22.2%	44.4%	33.3%	0.0%	0.0%
20 歳代	53	1.9%	22.6%	28.3%	34.0%	13.2%	0.0%
30 歳代	105	2.9%	21.9%	30.5%	30.5%	14.3%	0.0%
40 歳代	144	4.2%	24.3%	31.3%	31.9%	8.3%	0.0%
50 歳代	146	1.4%	17.8%	41.8%	32.2%	5.5%	1.4%
60 歳代	170	2.9%	28.2%	27.1%	37.1%	2.9%	1.8%
70 歳代	188	3.7%	27.1%	29.3%	28.2%	8.0%	3.7%
80 歳以上	83	6.0%	34.9%	25.3%	26.5%	4.8%	2.4%
職業別							
会社員	406	3.0%	23.2%	32.0%	33.0%	8.4%	0.5%
自営業	66	6.1%	21.2%	33.3%	28.8%	9.1%	1.5%
農林漁業	9	22.2%	11.1%	11.1%	33.3%	22.2%	0.0%
公務員	55	1.8%	27.3%	36.4%	27.3%	5.5%	1.8%
学生	11	0.0%	18.2%	45.5%	36.4%	0.0%	0.0%
主婦・主夫	129	2.3%	26.4%	32.6%	32.6%	3.9%	2.3%
無職	201	3.0%	30.3%	26.9%	29.9%	6.5%	3.5%
その他	17	0.0%	23.5%	17.6%	41.2%	17.6%	0.0%
地区別							
中央区	211	3.3%	21.3%	33.2%	32.2%	8.1%	1.9%
東区	234	3.0%	27.4%	29.5%	29.9%	9.0%	1.3%
西区	119	3.4%	26.1%	31.1%	30.3%	9.2%	0.0%
南区	161	3.1%	24.8%	33.5%	31.7%	3.1%	3.7%
北区	170	2.9%	26.5%	28.2%	35.3%	6.5%	0.6%

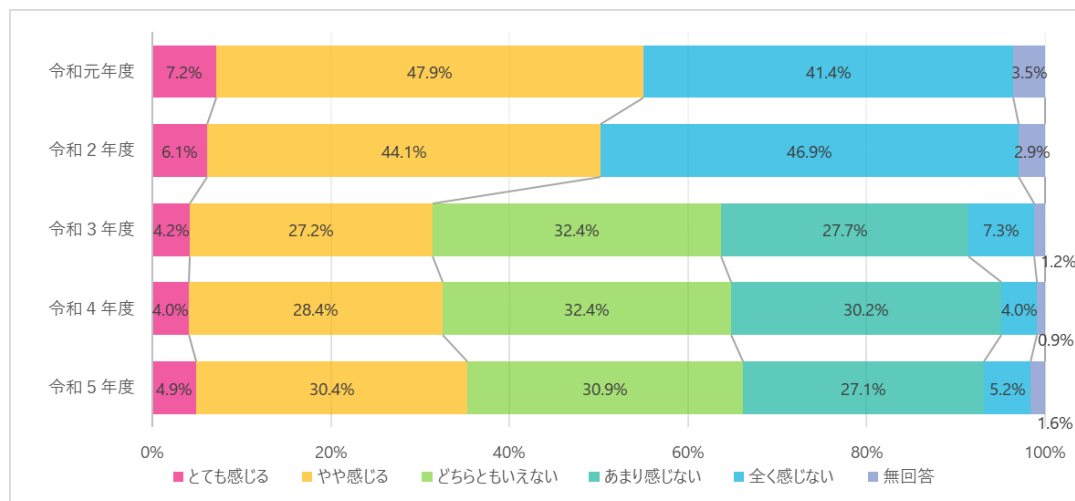
問 1 1. 環境保全に関わるまちづくりの活動が増えてきたと感じますか。(1 つだけ)

(例：緑化活動、清掃活動、環境学習に関する活動など)

令和 3 年度より、選択肢を「感じる」、「やや感じる」、「感じない」から、「とても感じる」、「やや感じる」、「どちらともいえない」、「あまり感じない」、「全く感じない」に変更したものである。

「どちらともいえない」が 30.9%と最も高く、次いで「やや感じる」が 30.4%、「あまり感じない」が 27.1%となっている。

「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は 35.3%で、前回の調査と比較すると 2.9 ポイント増加している。



【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は 80 歳以上が 50.6%と最も高く、次いで 70 歳代 (43.6%)、60 歳代 (34.1%) となっている。

職業別：「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は農林漁業が 55.5%と最も高く、次いでその他 (41.2%)、主婦・主夫 (38.7%) となっている。

地区別：「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は西区が 46.2%と最も高く、次いで南区 (38.5%)、東区 (35.1%) となっている。

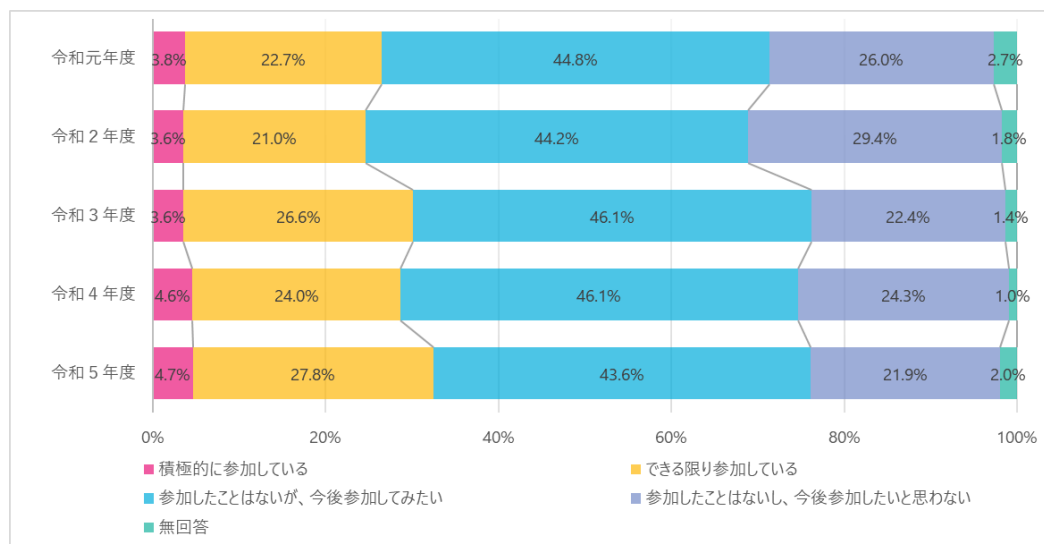
【属性別回答】

	合計	とても感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	全く感じない	無回答
全体	942	4.9%	30.4%	30.9%	27.1%	5.2%	1.6%
年齢別							
10 歳代	9	0.0%	11.1%	44.4%	44.4%	0.0%	0.0%
20 歳代	53	5.7%	28.3%	32.1%	26.4%	7.5%	0.0%
30 歳代	105	2.9%	27.6%	32.4%	24.8%	12.4%	0.0%
40 歳代	144	4.9%	23.6%	27.8%	38.2%	5.6%	0.0%
50 歳代	146	2.1%	26.7%	41.1%	24.0%	4.8%	1.4%
60 歳代	170	3.5%	30.6%	31.2%	30.6%	2.4%	1.8%
70 歳代	188	6.4%	37.2%	28.7%	20.2%	3.7%	3.7%
80 歳以上	83	10.8%	39.8%	24.1%	19.3%	3.6%	2.4%
職業別							
会社員	406	3.7%	28.1%	31.3%	30.3%	6.2%	0.5%
自営業	66	6.1%	31.8%	28.8%	28.8%	3.0%	1.5%
農林漁業	9	11.1%	44.4%	0.0%	22.2%	22.2%	0.0%
公務員	55	1.8%	36.4%	34.5%	20.0%	5.5%	1.8%
学生	11	0.0%	9.1%	45.5%	45.5%	0.0%	0.0%
主婦・主夫	129	5.4%	33.3%	31.0%	26.4%	1.6%	2.3%
無職	201	7.0%	31.3%	32.8%	20.9%	4.5%	3.5%
その他	17	5.9%	35.3%	17.6%	23.5%	17.6%	0.0%
地区別							
中央区	211	4.3%	24.2%	32.7%	29.4%	8.1%	1.4%
東区	234	5.6%	29.5%	29.9%	29.5%	3.8%	1.7%
西区	119	5.0%	41.2%	21.0%	26.9%	5.9%	0.0%
南区	161	5.0%	33.5%	34.8%	21.1%	1.9%	3.7%
北区	170	3.5%	29.4%	34.7%	25.9%	5.9%	0.6%

問 1 2. 日頃、地域の環境保全活動に参加していますか。(1つだけ)

「参加したことはないが、今後参加してみたい」が 43.6%と最も高く、次いで「できる限り参加している」が 27.8%、「参加したことはないし、今後参加したいと思わない」が 21.9%となっている。

「積極的に参加している」、「できる限り参加している」を合わせた割合は 32.5%で、前回と比較すると 3.9 ポイント増加している。



【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「積極的に参加している」と「できる限り参加している」を合わせた割合は 80 歳以上が 50.6%と最も高く、次いで、70 歳代 (43.1%)、60 歳代 (35.9%) となっている。

職業別：「積極的に参加している」と「できる限り参加している」を合わせた割合は農林漁業が 66.6%と最も高く、次いで、無職 (37.8%)、主婦・主夫 (37.2%) となっている。

地区別：「積極的に参加している」と「できる限り参加している」を合わせた割合は北区が 37.7%と最も高く、次いで、南区 (34.8%)、東区 (34.2%) となっている。

【属性別回答】

	合計	積極的に参加している	できる限り参加している	参加したことはないが、今後参加してみたい	参加したことはないし、今後参加したいと思わない	無回答
全体	942	4.7%	27.8%	43.6%	21.9%	2.0%
年齢別						
10 歳代	9	0.0%	11.1%	33.3%	55.6%	0.0%
20 歳代	53	0.0%	13.2%	60.4%	26.4%	0.0%
30 歳代	105	1.0%	21.9%	50.5%	26.7%	0.0%
40 歳代	144	1.4%	25.7%	43.8%	29.2%	0.0%
50 歳代	146	2.1%	24.7%	54.8%	17.1%	1.4%
60 歳代	170	5.9%	30.0%	42.4%	18.8%	2.9%
70 歳代	188	8.0%	35.1%	35.1%	17.6%	4.3%
80 歳以上	83	14.5%	36.1%	30.1%	16.9%	2.4%
職業別						
会社員	406	2.2%	26.4%	47.8%	23.2%	0.5%
自営業	66	3.0%	27.3%	48.5%	19.7%	1.5%
農林漁業	9	22.2%	44.4%	33.3%	0.0%	0.0%
公務員	55	3.6%	29.1%	41.8%	23.6%	1.8%
学生	11	0.0%	27.3%	36.4%	36.4%	0.0%
主婦・主夫	129	2.3%	34.9%	41.9%	17.1%	3.9%
無職	201	11.4%	26.4%	35.8%	22.4%	4.0%
その他	17	0.0%	29.4%	64.7%	5.9%	0.0%
地区別						
中央区	211	2.8%	22.7%	49.3%	23.2%	1.9%
東区	234	4.3%	29.9%	41.9%	21.8%	2.1%
西区	119	5.0%	26.9%	50.4%	16.8%	0.8%
南区	161	6.2%	28.6%	43.5%	18.0%	3.7%
北区	170	5.9%	31.8%	36.5%	25.3%	0.6%

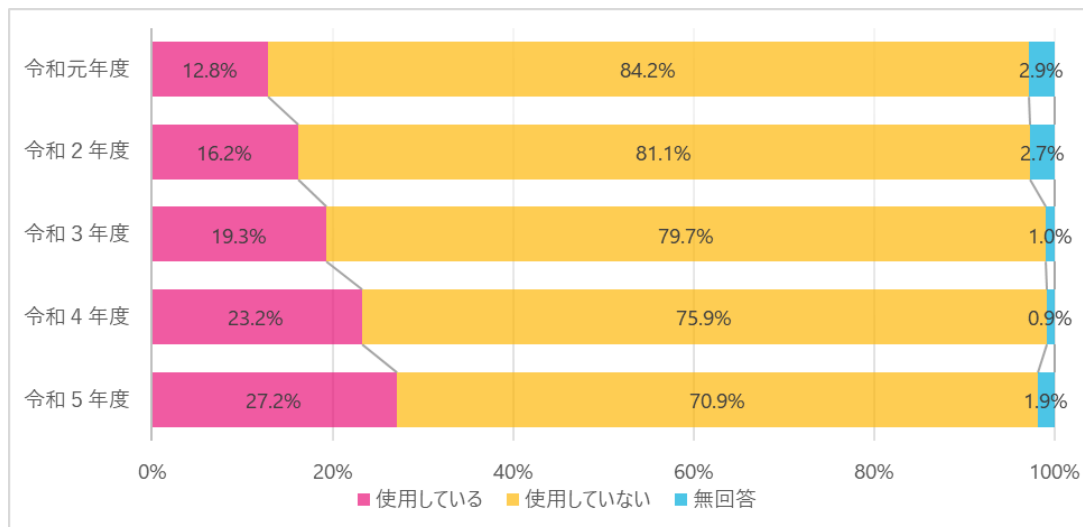
■「ごみ問題への関心と地域におけるごみ出しマナー」について

問 1 3. スマートフォン・タブレット向けの紙のごみカレンダーをもっと便利にした「熊本市ごみカレンダーアプリ」を使っていますか。(1 つだけ)

令和 3 年度より「スマートフォン・タブレット向けの「熊本市ごみ分別アプリ」を知っていますか」との設問を修正したものである。

「使用している」が 27.2%、「使用していない」が 70.9%、となっている。

設問が修正されているので単純比較はできないが、「使用している」と回答した割合は過去 5 年間で最も高い割合となった。



【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「使用している」は 30 歳代が 38.1%と最も高く、次いで 50 歳代 (34.2%)、20 歳代 (34.0%) となっている。

職業別：「使用している」は農林漁業が 44.4%と最も高く、次いでその他 (41.2%)、会社員 (32.0%) となっている。

地区別：「使用している」は中央区が 29.9%と最も高く、次いで西区 (28.6%)、東区 (26.5%) となっている。

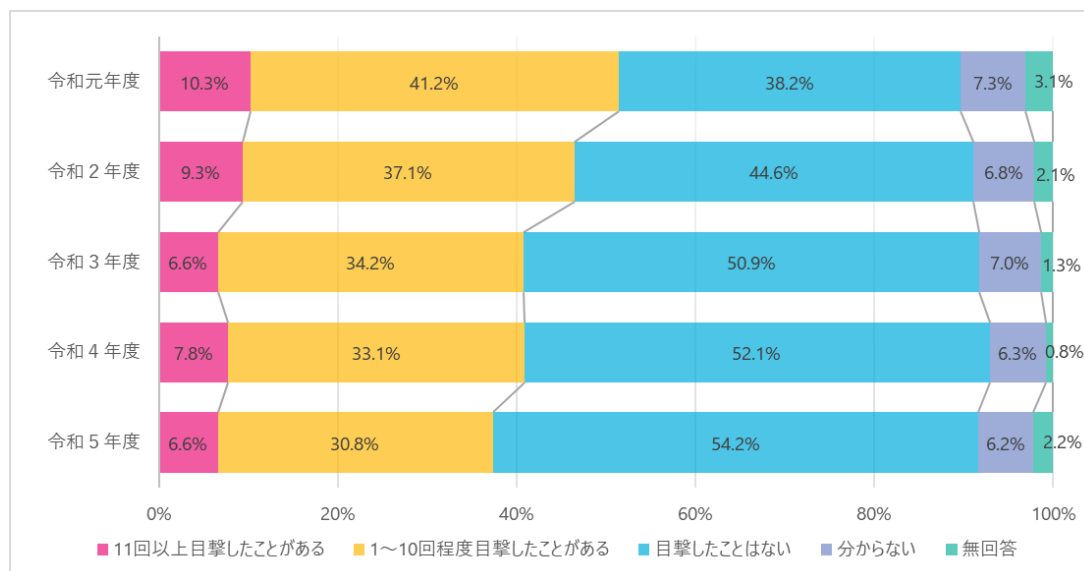
【属性別回答】

	合計	使用している	使用していない	無回答
全体	942	27.2%	70.9%	1.9%
年齢別				
10 歳代	9	22.2%	77.8%	0.0%
20 歳代	53	34.0%	66.0%	0.0%
30 歳代	105	38.1%	61.9%	0.0%
40 歳代	144	31.3%	68.8%	0.0%
50 歳代	146	34.2%	64.4%	1.4%
60 歳代	170	20.0%	78.2%	1.8%
70 歳代	188	17.0%	77.7%	5.3%
80 歳以上	83	28.9%	68.7%	2.4%
職業別				
会社員	406	32.0%	67.5%	0.5%
自営業	66	18.2%	80.3%	1.5%
農林漁業	9	44.4%	55.6%	0.0%
公務員	55	29.1%	69.1%	1.8%
学生	11	27.3%	72.7%	0.0%
主婦・主夫	129	18.6%	79.1%	2.3%
無職	201	23.9%	71.1%	5.0%
その他	17	41.2%	58.8%	0.0%
地区別				
中央区	211	29.9%	68.2%	1.9%
東区	234	26.5%	71.4%	2.1%
西区	119	28.6%	71.4%	0.0%
南区	161	24.8%	71.4%	3.7%
北区	170	25.9%	72.9%	1.2%

問 1 4. この 1 年間でごみステーションから資源物等を持ち去る行為を目撃しましたか。

(1 つだけ)

「目撃したことはない」が54.2%で最も高く、次いで「1～10回程度目撃したことがある」が30.8%、「11回以上目撃したことがある」が6.6%となっている。



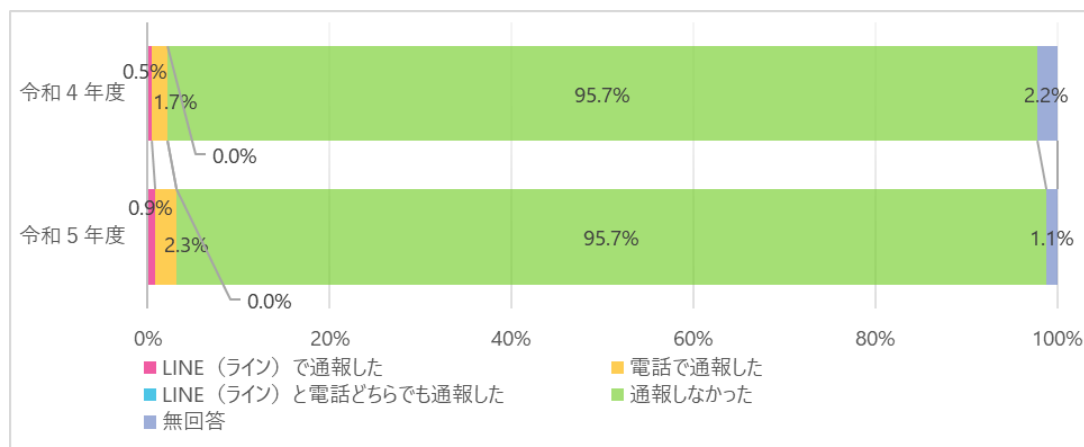
【属性別回答】

	合計	二回以上目撃したことがある	1～10回程度目撃したことがある	目撃したことはない	分からない	無回答
全体	942	6.6%	30.8%	54.2%	6.2%	2.2%
年齢別						
10 歳代	9	0.0%	22.2%	77.8%	0.0%	0.0%
20 歳代	53	1.9%	11.3%	77.4%	9.4%	0.0%
30 歳代	105	4.8%	21.0%	67.6%	6.7%	0.0%
40 歳代	144	10.4%	35.4%	47.9%	6.3%	0.0%
50 歳代	146	6.8%	37.0%	49.3%	5.5%	1.4%
60 歳代	170	7.1%	37.6%	49.4%	4.1%	1.8%
70 歳代	188	5.9%	31.4%	50.5%	6.9%	5.3%
80 歳以上	83	4.8%	28.9%	54.2%	6.0%	6.0%
職業別						
会社員	406	7.6%	31.0%	55.4%	5.2%	0.7%
自営業	66	6.1%	25.8%	59.1%	7.6%	1.5%
農林漁業	9	11.1%	22.2%	66.7%	0.0%	0.0%
公務員	55	7.3%	23.6%	61.8%	5.5%	1.8%
学生	11	0.0%	27.3%	72.7%	0.0%	0.0%
主婦・主夫	129	5.4%	36.4%	48.1%	7.0%	3.1%
無職	201	5.0%	33.3%	50.2%	6.0%	5.5%
その他	17	5.9%	35.3%	41.2%	17.6%	0.0%
地区別						
中央区	211	6.6%	31.3%	54.0%	5.2%	2.8%
東区	234	5.6%	32.5%	53.8%	6.8%	1.3%
西区	119	5.9%	32.8%	54.6%	5.0%	1.7%
南区	161	6.2%	25.5%	57.1%	7.5%	3.7%
北区	170	8.2%	33.5%	51.8%	4.7%	1.8%

問 1 4 - 1. 問 1 4 で 1、2 を選択された方にお尋ねします。目撃情報を LINE や電話で市に通報しましたか。(1つだけ)

令和 4 年度より、新規で設問を追加し調査を行った。

問 14. で「11 回以上目撃したことがある」又は「1～10 回程度目撃したことがある」と回答した 352 人については、「通報しなかった」が 95.7%と最も高く、次いで「電話で通報した」が 2.3%、「無回答」が 1.1%となっている。



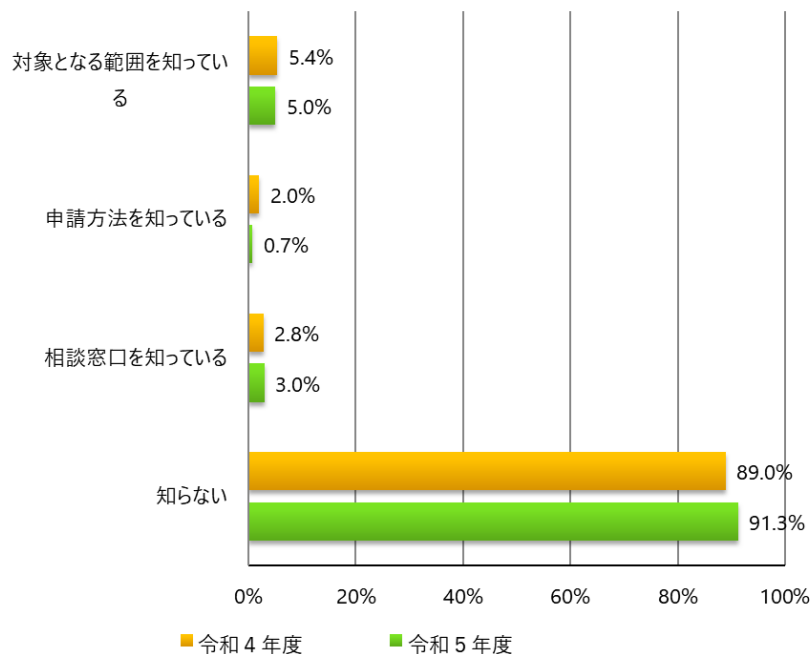
【属性別回答】

	合計	LINE (ライン) で通報した	電話で 通報した	LINE (ライン)と電話 どちら でも通報した	通報し なかった	無回 答
全体	352	0.9%	2.3%	0.0%	95.7%	1.1%
年齢別						
10 歳代	9	0.0%	0.0%	0.0%	22.2%	77.8%
20 歳代	53	0.0%	0.0%	0.0%	13.2%	86.8%
30 歳代	105	1.0%	0.0%	0.0%	23.8%	75.2%
40 歳代	144	1.4%	0.0%	0.0%	44.4%	54.2%
50 歳代	146	0.0%	0.0%	0.0%	43.8%	56.2%
60 歳代	170	0.0%	1.2%	0.0%	43.5%	55.3%
70 歳代	188	0.0%	2.7%	0.0%	34.0%	63.3%
80 歳以上	83	0.0%	0.0%	0.0%	32.5%	67.5%
職業別						
会社員	406	0.2%	0.0%	0.0%	38.2%	61.6%
自営業	66	0.0%	1.5%	0.0%	30.3%	68.2%
農林漁業	9	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	66.7%
公務員	55	1.8%	0.0%	0.0%	29.1%	69.1%
学生	11	0.0%	0.0%	0.0%	27.3%	72.7%
主婦・主夫	129	0.8%	0.0%	0.0%	40.3%	58.9%
無職	201	0.0%	3.0%	0.0%	34.8%	62.2%
その他	17	0.0%	0.0%	0.0%	41.2%	58.8%
地区別						
中央区	211	0.0%	0.5%	0.0%	37.0%	62.6%
東区	234	0.4%	0.9%	0.0%	36.8%	62.0%
西区	119	0.8%	0.0%	0.0%	37.0%	62.2%
南区	161	0.0%	1.2%	0.0%	29.8%	68.9%
北区	170	0.6%	1.2%	0.0%	40.0%	58.2%

問 1 5. 同居するすべての方がごみ出しを行うことが困難な場合、それぞれのお宅の玄関先まで収集に伺う「ふれあい収集」を知っていますか。(いくつでも可)

令和 4 年度より、新規で設問を追加し調査を行った。

「知らない」が91.3%と最も高く、次いで「対象となる範囲を知っている」が5.0%、「相談窓口を知っている」が3.0%となっている。



【属性別回答】

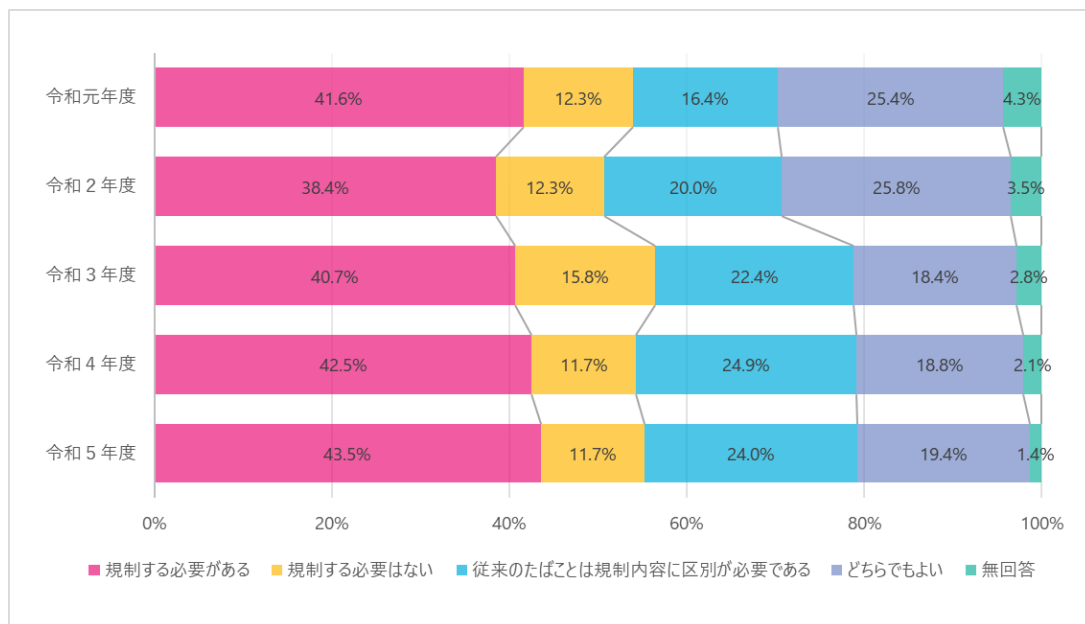
	合計	対象となる範囲を知っている	申請方法を知っている	相談窓口を知っている	知らない
全体	942	5.0%	0.7%	3.0%	91.3%
年齢別					
10 歳代	9	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
20 歳代	53	1.9%	0.0%	3.8%	94.3%
30 歳代	105	1.0%	0.0%	1.9%	98.1%
40 歳代	144	2.1%	0.7%	1.4%	95.8%
50 歳代	146	5.5%	0.0%	1.4%	92.5%
60 歳代	170	8.8%	0.6%	4.1%	88.2%
70 歳代	188	5.3%	2.7%	3.7%	87.8%
80 歳以上	83	8.4%	0.0%	6.0%	86.7%
職業別					
会社員	406	4.2%	0.2%	2.2%	94.1%
自営業	66	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
農林漁業	9	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
公務員	55	7.3%	1.8%	5.5%	85.5%
学生	11	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
主婦・主夫	129	5.4%	0.0%	2.3%	90.7%
無職	201	7.5%	2.0%	4.5%	86.1%
その他	17	0.0%	0.0%	11.8%	88.2%
地区別					
中央区	211	5.7%	0.5%	3.3%	91.0%
東区	234	3.4%	0.0%	2.6%	93.2%
西区	119	4.2%	1.7%	3.4%	91.6%
南区	161	5.0%	1.2%	3.1%	91.3%
北区	170	6.5%	1.2%	2.9%	90.6%

■「受動喫煙防止」について

問 16. 現在、急激に普及している火を使わない「電子たばこ（加熱式）」の路上喫煙について、従来のたばこと同様に規制する必要があると考えますか。（1つだけ）

「規制する必要がある」が 43.5%と最も高く、次いで「従来のたばことは規制内容に区別が必要である」が 24.0%、「どちらでもよい」が 19.4%となっている。

前回調査と比較すると、「規制する必要がある」は 1.0 ポイント増加、「従来のたばことは規制内容に区別が必要である」は 0.9 ポイント減少、「規制する必要はない」は 0.6 ポイント増加している。



【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「規制する必要がある」は 10 歳代が 55.6%と最も高く、「規制する必要はない」は 30 歳代が 16.2%、「従来のたばことは規制内容に区別が必要である」は 50 歳代が 35.6%と最も高くなっている。

職業別：「規制する必要がある」は学生が 63.6%と最も高く、「規制する必要はない」は自営業が 21.2%、「従来のたばことは規制内容に区別が必要である」は農林漁業が 33.3%と最も高くなっている。

地区別：「規制する必要がある」は中央区が 46.9%と最も高く、「規制する必要はない」は南区が 14.9%、「従来のたばことは規制内容に区別が必要である」は北区が 30.0%となっている。

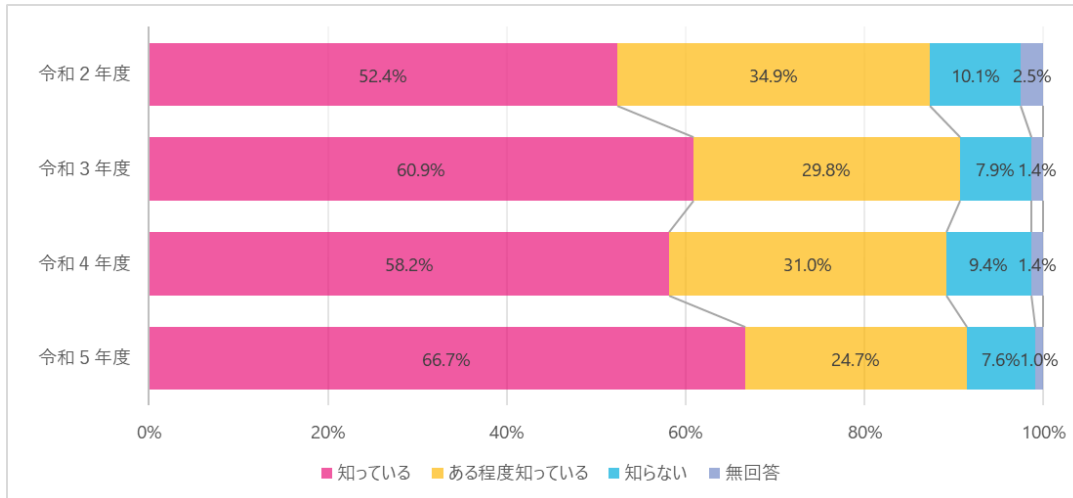
【属性別回答】

	合計	規制する必要がある	規制する必要はない	従来のたばことは規制内容に区別が必要である	どちらでもよい	無回答
全体	942	43.5%	11.7%	24.0%	19.4%	1.4%
年齢別						
10 歳代	9	55.6%	0.0%	11.1%	33.3%	0.0%
20 歳代	53	34.0%	11.3%	32.1%	22.6%	0.0%
30 歳代	105	39.0%	16.2%	23.8%	21.0%	0.0%
40 歳代	144	41.7%	12.5%	23.6%	21.5%	0.7%
50 歳代	146	42.5%	7.5%	35.6%	13.7%	0.7%
60 歳代	170	37.6%	15.9%	27.1%	18.2%	1.2%
70 歳代	188	54.3%	9.0%	14.9%	19.7%	2.1%
80 歳以上	83	47.0%	9.6%	20.5%	21.7%	1.2%
職業別						
会社員	406	44.1%	12.6%	27.6%	15.5%	0.2%
自営業	66	39.4%	21.2%	25.8%	13.6%	0.0%
農林漁業	9	33.3%	11.1%	33.3%	11.1%	11.1%
公務員	55	38.2%	16.4%	21.8%	21.8%	1.8%
学生	11	63.6%	0.0%	18.2%	18.2%	0.0%
主婦・主夫	129	47.3%	3.9%	19.4%	26.4%	3.1%
無職	201	41.8%	11.4%	21.4%	24.4%	1.0%
その他	17	47.1%	5.9%	17.6%	29.4%	0.0%
地区別						
中央区	211	46.9%	12.3%	22.7%	17.5%	0.5%
東区	234	46.2%	11.5%	24.4%	17.1%	0.9%
西区	119	42.9%	9.2%	21.0%	24.4%	2.5%
南区	161	38.5%	14.9%	23.0%	22.4%	1.2%
北区	170	40.6%	9.4%	30.0%	19.4%	0.6%

■「プラスチック問題」について

問 1 7 . 海洋プラスチック問題を知っていますか。(1つだけ)

「知っている」が66.7%と最も高く、次いで「ある程度知っている」が24.7%、「知らない」が7.6%となっている。



【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「知っている」と「ある程度知っている」を合わせた割合は10歳代が100.0%と最も高く、次いで60歳代（94.7%）、50歳代（93.8%）となっている。

「知らない」は20歳代が20.8%と最も高く、次いで30歳代（10.5%）、70歳代（8.0%）となっている。

職業別：「知っている」と「ある程度知っている」を合わせた割合は農林漁業と学生が100%と最も高く、次いで自営業（95.5%）となっている。

「知らない」は公務員が12.7%と最も高く、次いで主婦・主夫（10.1%）、会社員（8.4%）となっている。

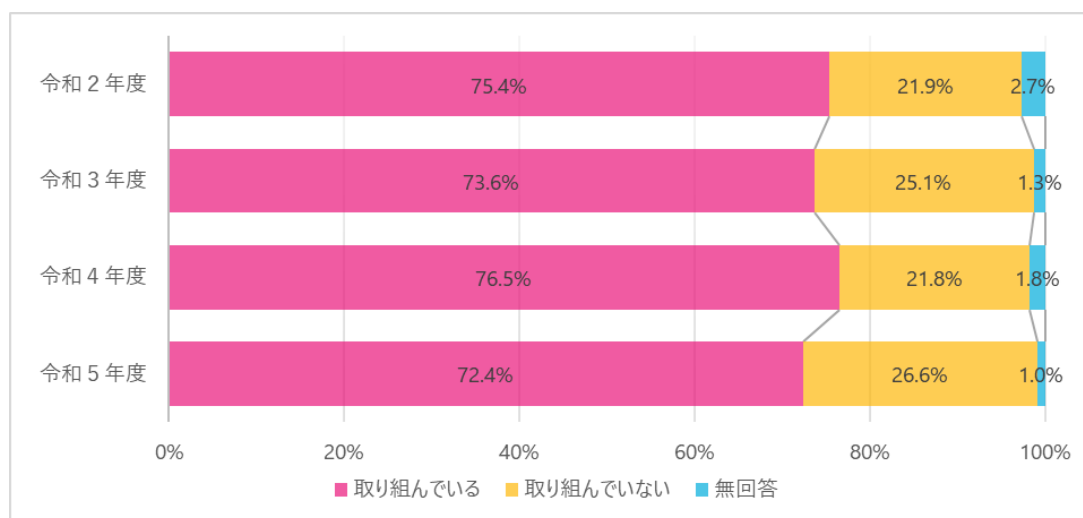
【属性別回答】

	合計	知っている	ある程度知っている	知らない	無回答
全体	942	66.7%	24.7%	7.6%	1.0%
年齢別					
10 歳代	9	44.4%	55.6%	0.0%	0.0%
20 歳代	53	50.9%	28.3%	20.8%	0.0%
30 歳代	105	60.0%	29.5%	10.5%	0.0%
40 歳代	144	68.8%	24.3%	6.9%	0.0%
50 歳代	146	67.1%	26.7%	5.5%	0.7%
60 歳代	170	78.8%	15.9%	4.7%	0.6%
70 歳代	188	70.7%	20.2%	8.0%	1.1%
80 歳以上	83	56.6%	34.9%	7.2%	1.2%
職業別					
会社員	406	67.7%	23.9%	8.4%	0.0%
自営業	66	65.2%	30.3%	4.5%	0.0%
農林漁業	9	77.8%	22.2%	0.0%	0.0%
公務員	55	67.3%	18.2%	12.7%	1.8%
学生	11	45.5%	54.5%	0.0%	0.0%
主婦・主夫	129	61.2%	27.9%	10.1%	0.8%
無職	201	71.1%	22.4%	5.0%	1.5%
その他	17	76.5%	17.6%	5.9%	0.0%
地区別					
中央区	211	73.0%	20.9%	6.2%	0.0%
東区	234	65.4%	24.8%	8.1%	1.7%
西区	119	65.5%	26.9%	7.6%	0.0%
南区	161	65.8%	23.0%	10.6%	0.6%
北区	170	65.3%	28.8%	5.9%	0.0%

問 18. プラスチックごみの削減に取り組んでいますか。(1つだけ)

「取り組んでいる」が72.4%、「取り組んでいない」が26.6%となっている。

前回調査と比較すると、「取り組んでいる」は4.1ポイント減少し、「取り組んでいない」は4.8ポイント増加している。



【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「取り組んでいる」は70歳代が82.4%と最も高く、次いで60歳代(75.9%)、50歳代(75.3%)となっている。

「取り組んでいない」は10歳代が55.6%と最も高く、次いで20歳代(49.1%)、30歳代(37.1%)となっている。

職業別：「取り組んでいる」は農林漁業が88.9%と最も高く、次いで主婦・主夫(81.4%)、自営業(78.8%)となっている。

「取り組んでいない」は学生が45.5%と最も高く、次いで公務員(38.2%)、その他(29.4%)となっている。

地区別：「取り組んでいる」は北区が80.0%と最も高く、次いで西区(73.9%)、南区(72.7%)となっている。

「取り組んでいない」は東区が31.2%と最も高く、次いで中央区(27.0%)、南区(26.7%)となっている。

【属性別回答】

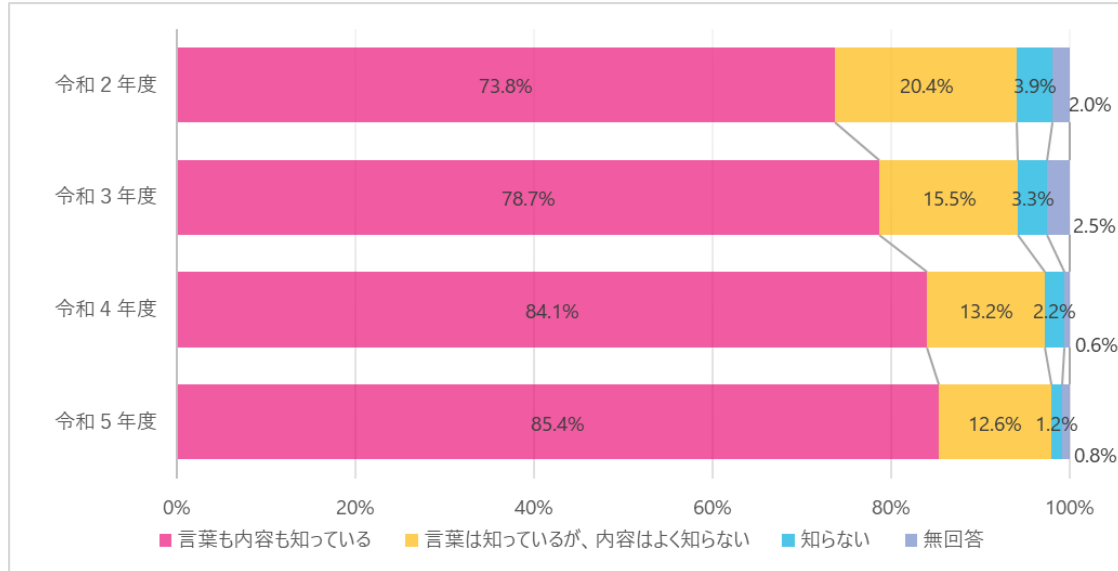
	合計	取り組んでいる	取り組んでいない	無回答
全体	942	72.4%	26.6%	1.0%
年齢別				
10 歳代	9	44.4%	55.6%	0.0%
20 歳代	53	50.9%	49.1%	0.0%
30 歳代	105	62.9%	37.1%	0.0%
40 歳代	144	69.4%	29.9%	0.7%
50 歳代	146	75.3%	24.0%	0.7%
60 歳代	170	75.9%	22.9%	1.2%
70 歳代	188	82.4%	16.5%	1.1%
80 歳以上	83	74.7%	25.3%	0.0%
職業別				
会社員	406	70.4%	28.8%	0.7%
自営業	66	78.8%	21.2%	0.0%
農林漁業	9	88.9%	11.1%	0.0%
公務員	55	60.0%	38.2%	1.8%
学生	11	54.5%	45.5%	0.0%
主婦・主夫	129	81.4%	17.8%	0.8%
無職	201	74.1%	25.4%	0.5%
その他	17	70.6%	29.4%	0.0%
地区別				
中央区	211	72.5%	27.0%	0.5%
東区	234	67.5%	31.2%	1.3%
西区	119	73.9%	25.2%	0.8%
南区	161	72.7%	26.7%	0.6%
北区	170	80.0%	20.0%	0.0%

■「食品ロス」について

問 19. 「食品ロス」について知っていますか。(1つだけ)

「言葉も内容も知っている」が85.4%と最も高く、次いで「言葉は知っているが、内容はよく知らない」が12.6%、「知らない」が1.2%となっている。

前回調査と比較すると、「言葉も内容も知っている」は1.3ポイント増加している。



【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「言葉も内容も知っている」は50歳代が90.4%と最も高く、次いで40歳代（89.6%）、60歳代（89.4%）となっている。

「言葉は知っているが、内容はよく知らない」は80歳以上が26.5%と最も高く、次いで70歳代（16.0%）、30歳代（11.4%）となっている。

「知らない」は70歳代が2.1%と最も高く、20歳代（1.9%）、50歳代（1.4%）となっている。

職業別：「言葉も内容も知っている」は公務員が94.5%と最も高く、次いでその他（94.1%）、学生（90.9%）となっている。

「言葉は知っているが、内容はよく知らない」は農林漁業が33.3%と最も高く、次いで無職（17.9%）、自営業（12.1%）となっている。

「知らない」は無職が2.0%と最も高く、会社員（1.2%）、主婦・主夫（0.8%）となっている。

【属性別回答】

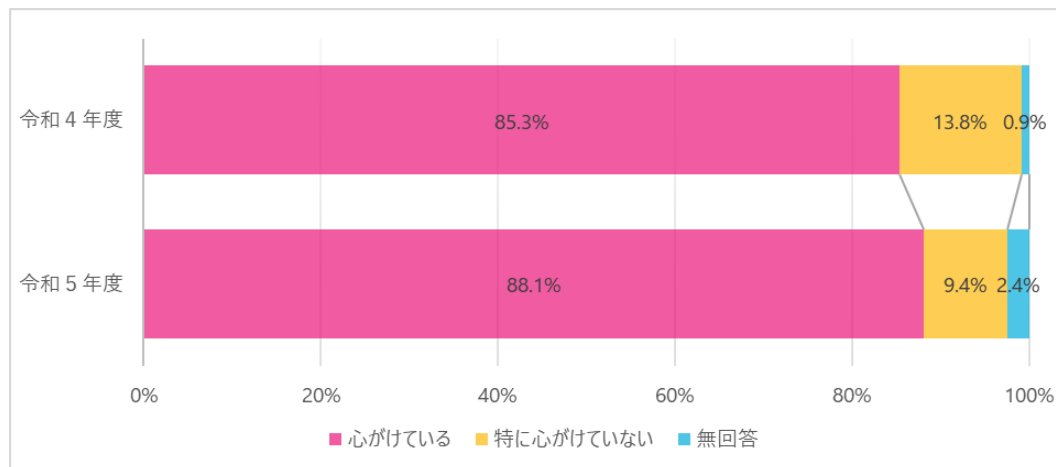
	合計	言葉も内容も知っている	言葉は知っているが、内容はよく知らない	知らない	無回答
全体	942	85.4%	12.6%	1.2%	0.8%
年齢別					
10 歳代	9	88.9%	11.1%	0.0%	0.0%
20 歳代	53	86.8%	11.3%	1.9%	0.0%
30 歳代	105	87.6%	11.4%	1.0%	0.0%
40 歳代	144	89.6%	9.7%	0.0%	0.7%
50 歳代	146	90.4%	7.5%	1.4%	0.7%
60 歳代	170	89.4%	9.4%	1.2%	0.0%
70 歳代	188	80.3%	16.0%	2.1%	1.6%
80 歳以上	83	72.3%	26.5%	1.2%	0.0%
職業別					
会社員	406	87.4%	11.1%	1.2%	0.2%
自営業	66	87.9%	12.1%	0.0%	0.0%
農林漁業	9	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%
公務員	55	94.5%	3.6%	0.0%	1.8%
学生	11	90.9%	9.1%	0.0%	0.0%
主婦・主夫	129	86.0%	11.6%	0.8%	1.6%
無職	201	79.6%	17.9%	2.0%	0.5%
その他	17	94.1%	5.9%	0.0%	0.0%
地区別					
中央区	211	88.6%	10.0%	0.9%	0.5%
東区	234	85.9%	12.4%	0.9%	0.9%
西区	119	84.0%	15.1%	0.8%	0.0%
南区	161	85.1%	11.2%	2.5%	1.2%
北区	170	84.7%	14.1%	1.2%	0.0%

問 20. 食品ロス削減のため、買いすぎ・作りすぎをしないように心がけていますか。

(1つだけ)

令和4年度より、新規で設問を追加し調査を行った。

「心がけている」が88.1%、「特に心がけていない」が9.4%となり、「心がけている」が「特に心がけていない」を大きく上回る結果となった。



【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「心がけている」は50歳代が94.5%と最も高く、次いで60歳代（91.8%）、40歳代（90.3%）となっている。

「特に心がけていない」は10歳代が22.2%と最も高く、次いで20歳代が（17.0%）、80歳以上（13.3%）となっている。

職業別：「心がけている」はその他が100%と最も高く、次いで主婦・主夫（92.2%）、会社員（89.9%）となっている。

「特に心がけていない」は学生が18.2%と最も高く、次いで公務員（16.4%）、無職（12.4%）となっている。

地区別：「心がけている」は北区が89.4%と最も高く、次いで東区（89.3%）、中央区と西区（89.1%）となっている。

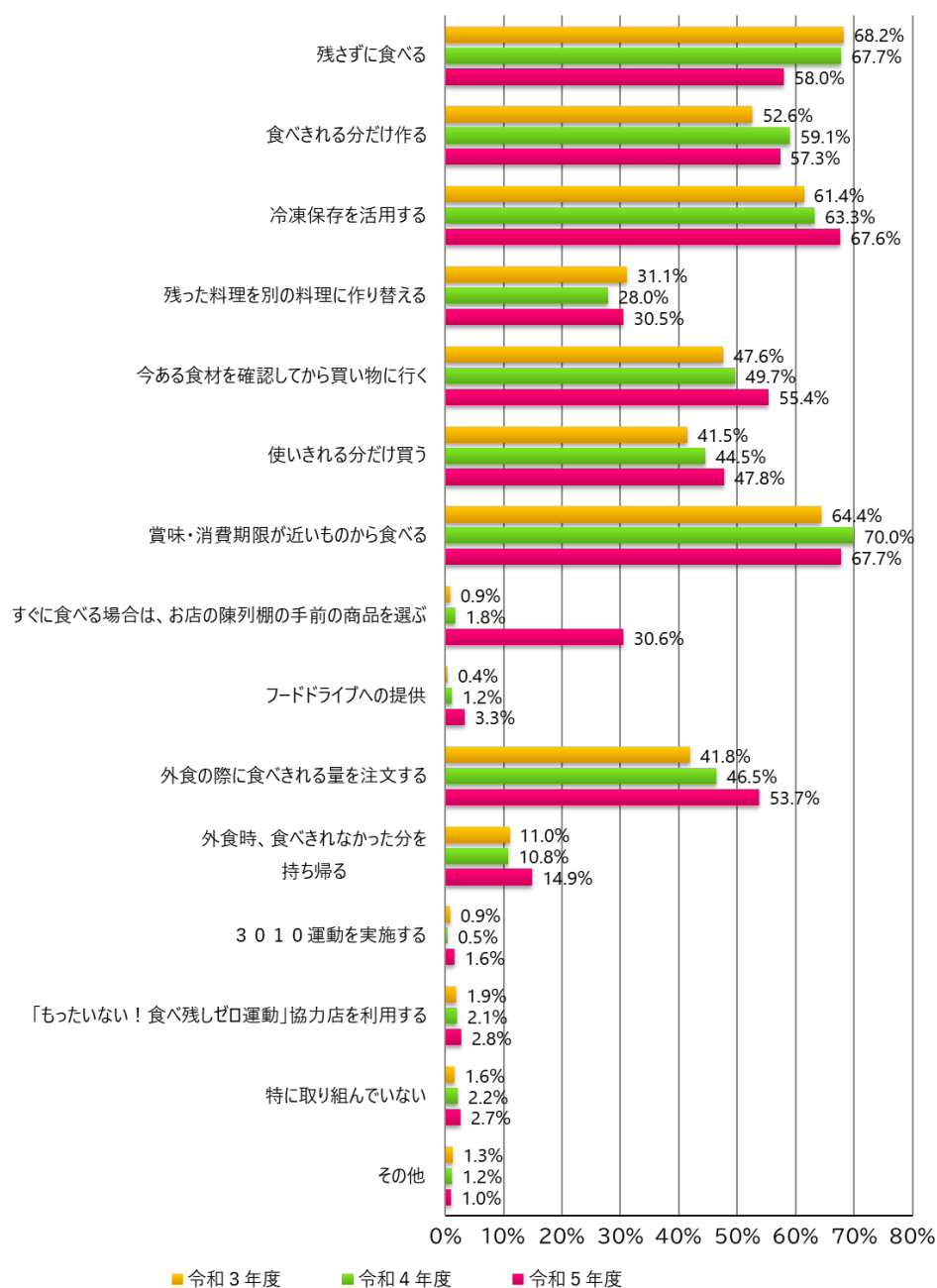
「特に心がけていない」は南区が11.2%と最も高く、次いで北区（9.4%）、西区（9.2%）となっている。

【属性別回答】

	合計	心がけている	特に心がけていない	無回答
全体	942	88.1%	9.4%	2.4%
年齢別				
10 歳代	9	77.8%	22.2%	0.0%
20 歳代	53	83.0%	17.0%	0.0%
30 歳代	105	88.6%	11.4%	0.0%
40 歳代	144	90.3%	9.7%	0.0%
50 歳代	146	94.5%	4.8%	0.7%
60 歳代	170	91.8%	6.5%	1.8%
70 歳代	188	84.6%	11.2%	4.3%
80 歳以上	83	78.3%	13.3%	8.4%
職業別				
会社員	406	89.9%	9.4%	0.7%
自営業	66	87.9%	7.6%	4.5%
農林漁業	9	77.8%	11.1%	11.1%
公務員	55	83.6%	16.4%	0.0%
学生	11	81.8%	18.2%	0.0%
主婦・主夫	129	92.2%	5.4%	2.3%
無職	201	83.1%	12.4%	4.5%
その他	17	100.0%	0.0%	0.0%
地区別				
中央区	211	89.1%	9.0%	1.9%
東区	234	89.3%	9.0%	1.7%
西区	119	89.1%	9.2%	1.7%
南区	161	84.5%	11.2%	4.3%
北区	170	89.4%	9.4%	1.2%

問 2 1. 食品ロス削減について、取り組んでいることはありますか。(いくつでも可)

「賞味・消費期限が近いものから食べる」が 67.7%と最も高く、次いで「冷凍保存を活用する」が 67.6%、「残さず食べる」が 58.0%となっている。



【参考】

「その他」の内容（11件）

- ・ 外食の回数を減らす。
- ・ 作りすぎたときはご近所へおすそ分けをする。
- ・ 野菜は皮や芯などキンピラにする。
- ・ 消費期限の近い割引商品を買うようにしている。
- ・ 果物、野菜は基本的に皮も食べる（玉ねぎ、ミカン、ゆずなど。）

【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「残さずに食べる」と「今ある食材を確認してから買い物に行く」は60歳代、「食べきれ的分だけ作る」と「使いきれ的分だけ買う」、「賞味・消費期限が近いものから食べる」、「すぐに食べる場合は、お店の陳列棚の手前の商品をえらぶ」、「外食の際に食べきれる量を注文する」は40歳代、「冷凍保存を活用する」は20歳代、「残った料理を別の料理に作り替える」、「外食時、食べきれなかった分を持ち帰る」は10歳代、「フードドライブへの提供」と「3010（さんまるいちまる）運動を実施する」は50歳代、「もったいない！食べ残しゼロ運動」協力店を利用する」は80歳以上が最も高くなっている。

職業別：「残さずに食べる」と「賞味・消費期限が近いものから食べる」は農林漁業が最も高く、「食べきれ的分だけ作る」、「今ある食材を確認してから買い物に行く」「すぐに食べる場合は、お店の陳列棚の手前の商品をえらぶ」「外食の際に食べきれる量を注文する」「外食時、食べきれなかった分を持ち帰る」「3010（さんまるいちまる）運動を実施する」「もったいない！食べ残しゼロ運動」協力店を利用する」はその他、「冷凍保存を活用する」は主婦・主夫、「残った料理を別の料理に作り替える」は学生、「使いきれ的分だけ買う」「フードドライブへの提供」は公務員となっている。

【属性別回答】

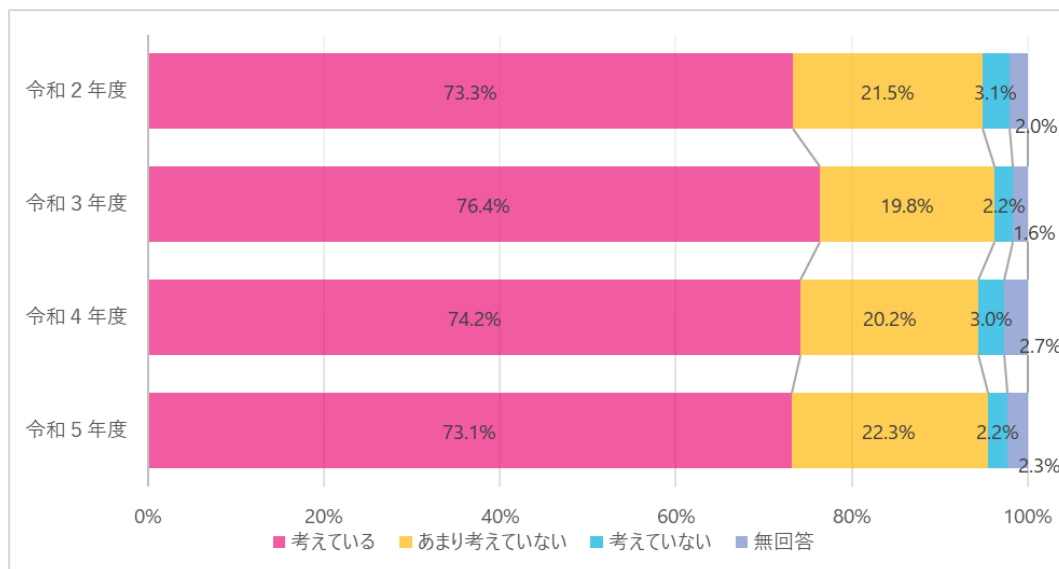
	合計	残さずに食べる	食べきれない分だけ作る	冷凍保存を活用する	残った料理を別の料理に作り替える	今ある食材を確認してから買い物に行く	使いきれない分だけ買う	賞味・消費期限が近いものから食べる	手前の商品を食べる場合は、お店の陳列棚	フードドライブへの提供	外食の際に食べきれない量を注文する	外食時、食べきれなかった分を持ち帰る	3010（さんまるいちまる）運動を実施する	「もったいない！食べ残しゼロ運動」協力店を利用する	特に取り組んでいない	その他
全体	942	58.0%	57.3%	67.6%	30.5%	55.4%	47.8%	67.7%	30.6%	3.3%	53.7%	14.9%	1.6%	2.8%	2.7%	1.0%
年代別																
10歳代	9	44.4%	33.3%	55.6%	44.4%	44.4%	44.4%	55.6%	22.2%	0.0%	55.6%	22.2%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%
20歳代	53	49.1%	50.9%	77.4%	18.9%	47.2%	49.1%	62.3%	26.4%	3.8%	60.4%	9.4%	1.9%	0.0%	0.0%	0.0%
30歳代	105	62.9%	52.4%	69.5%	32.4%	54.3%	54.3%	63.8%	41.0%	1.9%	58.1%	11.4%	1.9%	0.0%	1.0%	0.0%
40歳代	144	56.9%	66.0%	72.2%	33.3%	53.5%	57.6%	72.2%	43.8%	4.2%	61.1%	13.9%	1.4%	1.4%	0.7%	1.4%
50歳代	146	53.4%	63.0%	65.8%	32.2%	50.0%	54.1%	69.2%	32.9%	6.2%	53.4%	15.8%	2.7%	2.7%	0.0%	2.1%
60歳代	170	64.7%	64.1%	72.9%	34.1%	64.7%	44.1%	71.2%	30.6%	4.7%	57.6%	15.9%	2.4%	4.7%	2.4%	0.0%
70歳代	188	56.9%	52.7%	63.3%	27.1%	53.7%	40.4%	66.0%	21.8%	2.1%	45.7%	13.8%	1.1%	2.7%	5.9%	2.1%
80歳以上	83	51.8%	41.0%	57.8%	27.7%	62.7%	36.1%	68.7%	16.9%	0.0%	41.0%	20.5%	0.0%	6.0%	4.8%	0.0%
職業別																
会社員	406	60.1%	58.4%	71.4%	31.0%	51.0%	49.8%	67.7%	34.5%	4.4%	59.6%	12.1%	2.0%	2.0%	1.5%	0.7%
自営業	66	53.0%	56.1%	57.6%	37.9%	56.1%	53.0%	75.8%	40.9%	0.0%	51.5%	27.3%	0.0%	1.5%	0.0%	1.5%
農林漁業	9	66.7%	33.3%	44.4%	11.1%	55.6%	33.3%	77.8%	33.3%	0.0%	44.4%	11.1%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%
公務員	55	49.1%	60.0%	67.3%	32.7%	50.9%	58.2%	67.3%	30.9%	9.1%	47.3%	10.9%	5.5%	0.0%	0.0%	0.0%
学生	11	63.6%	54.5%	72.7%	45.5%	45.5%	45.5%	63.6%	36.4%	0.0%	54.5%	18.2%	0.0%	0.0%	9.1%	0.0%
主婦・主夫	129	53.5%	58.9%	76.7%	43.4%	66.7%	45.7%	74.4%	26.4%	3.1%	55.8%	20.2%	1.6%	3.9%	1.6%	1.6%
無職	201	59.2%	52.7%	59.7%	18.4%	58.7%	40.3%	63.2%	20.4%	2.0%	42.8%	11.4%	0.5%	4.0%	6.5%	1.0%
その他	17	52.9%	76.5%	70.6%	29.4%	70.6%	52.9%	76.5%	52.9%	0.0%	64.7%	35.3%	5.9%	5.9%	0.0%	5.9%
地区別																
中央区	211	56.9%	61.1%	69.2%	32.7%	56.9%	56.4%	72.5%	32.7%	3.8%	54.5%	16.1%	1.4%	2.8%	2.4%	0.9%
東区	234	59.8%	58.1%	67.9%	29.1%	54.7%	46.2%	65.4%	31.2%	4.3%	54.3%	15.4%	1.3%	3.8%	3.0%	1.3%
西区	119	58.8%	49.6%	68.1%	26.1%	55.5%	44.5%	67.2%	23.5%	3.4%	48.7%	14.3%	2.5%	1.7%	1.7%	0.8%
南区	161	55.3%	57.8%	65.2%	26.7%	57.1%	42.2%	68.9%	31.7%	2.5%	51.6%	11.8%	1.2%	1.2%	3.1%	1.2%
北区	170	55.3%	56.5%	70.0%	36.5%	54.1%	45.9%	66.5%	32.4%	2.9%	57.6%	15.3%	2.4%	2.9%	2.4%	0.6%

■「地球温暖化対策」について

問 2 2. 地球温暖化対策に積極的に取り組むべきと考えていますか。(1つだけ)

「考えている」が73.1%と最も高く、次いで「あまり考えていない」が22.3%となっている。

前回調査と比較すると、「考えている」は1.1ポイント減少し、「あまり考えていない」は2.1ポイント増加している。



【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「考えている」は50歳代が80.1%と最も高く、次いで10歳代（77.8%）、60歳代（76.5%）となっている。

「あまり考えていない」は30歳代が32.4%と最も高く、次いで20歳代（26.4%）、70歳代（23.9%）となっている。

職業別：「考えている」はその他が88.2%と最も高く、次いで主婦・主夫（81.4%）、農林漁業（77.8%）となっている。

「あまり考えていない」は学生が27.3%と最も高く、次いで無職（24.4%）、自営業（24.2%）となっている。

地区別：「考えている」は西区が81.5%と最も高く、次いで中央区（78.2%）、北区（73.5%）となっている。

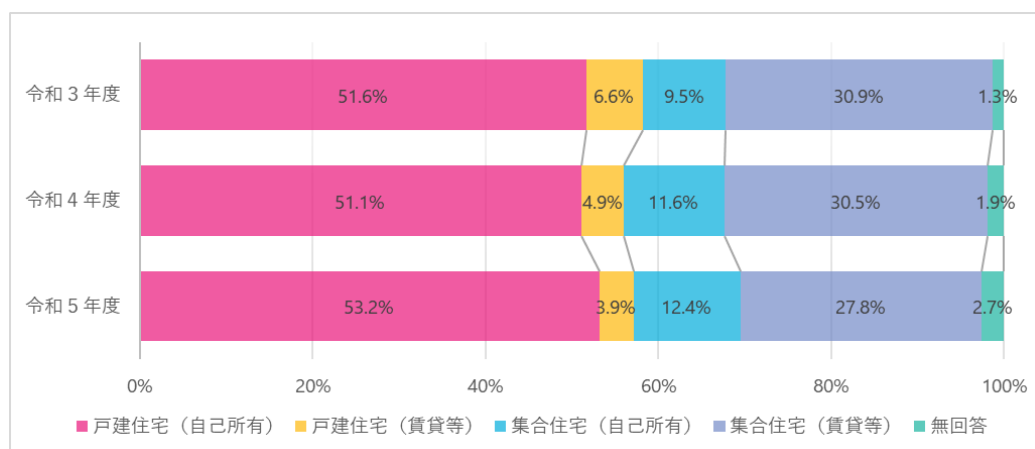
【属性別回答】

	合計	考えている	あまり考えていない	考えていない	無回答
全体	942	73.1%	22.3%	2.2%	2.3%
年齢別					
10 歳代	9	77.8%	22.2%	0.0%	0.0%
20 歳代	53	71.7%	26.4%	1.9%	0.0%
30 歳代	105	66.7%	32.4%	1.0%	0.0%
40 歳代	144	71.5%	22.9%	5.6%	0.0%
50 歳代	146	80.1%	18.5%	0.7%	0.7%
60 歳代	170	76.5%	18.2%	4.1%	1.2%
70 歳代	188	71.3%	23.9%	0.5%	4.3%
80 歳以上	83	75.9%	15.7%	1.2%	7.2%
職業別					
会社員	406	72.9%	23.6%	3.0%	0.5%
自営業	66	68.2%	24.2%	3.0%	4.5%
農林漁業	9	77.8%	11.1%	0.0%	11.1%
公務員	55	76.4%	21.8%	1.8%	0.0%
学生	11	72.7%	27.3%	0.0%	0.0%
主婦・主夫	129	81.4%	16.3%	0.0%	2.3%
無職	201	69.7%	24.4%	2.0%	4.0%
その他	17	88.2%	5.9%	5.9%	0.0%
地区別					
中央区	211	78.2%	19.0%	0.9%	1.9%
東区	234	72.2%	23.1%	3.0%	1.7%
西区	119	81.5%	15.1%	1.7%	1.7%
南区	161	64.6%	28.6%	3.1%	3.7%
北区	170	73.5%	24.1%	1.8%	0.6%

問 2 3. あなたの住宅について教えてください。(1つだけ)

令和3年度より、新規で設問を追加し調査を行った。

「戸建住宅（自己所有）」が53.2%と最も高く、次いで「集合住宅（賃貸等）」が27.8%、「集合住宅（自己所有）」が12.4%となっている。



【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「戸建住宅（自己所有）」は80歳以上が65.1%と最も高く、次いで60歳代（61.2%）、70歳代（59.6%）となっている。

「戸建住宅（賃貸等）」は20歳代が11.3%と最も高く、次いで40歳代（5.6%）、50歳代（5.5%）となっている。

「集合住宅（自己所有）」は60歳代が17.6%と最も高く、次いで50歳代（14.4%）、40歳代（11.8%）となっている。

「集合住宅（賃貸等）」は20歳代が64.2%と最も高く、次いで10歳代（44.4%）、30歳代（41.9%）となっている。

職業別：「戸建住宅（自己所有）」は農林漁業が88.9%と最も高く、次いで主婦・主夫（71.3%）、無職（56.7%）となっている。

「戸建住宅（賃貸等）」は会社員が6.2%と最も高く、次いで自営業（3.0%）、無職（2.5%）となっている。

「集合住宅（自己所有）」は自営業が21.2%と最も高く、次いで会社員（13.1%）、主婦・主夫（11.6%）となっている。

「集合住宅（賃貸等）」は学生が54.5%と最も高く、次いでその他（47.1%）、公務員（34.5%）となっている。

地区別：「戸建住宅（自己所有）」は北区が66.5%と最も高く、次いで南区（64.0%）、西区（58.8%）となっている。

「戸建住宅（賃貸等）」は東区が6.0%と最も高く、次いで南区（4.3%）、北区（4.1%）となっている。

「集合住宅（自己所有）」は中央区が26.5%と最も高く、次いで西区（15.1%）、東区（8.5%）となっている。

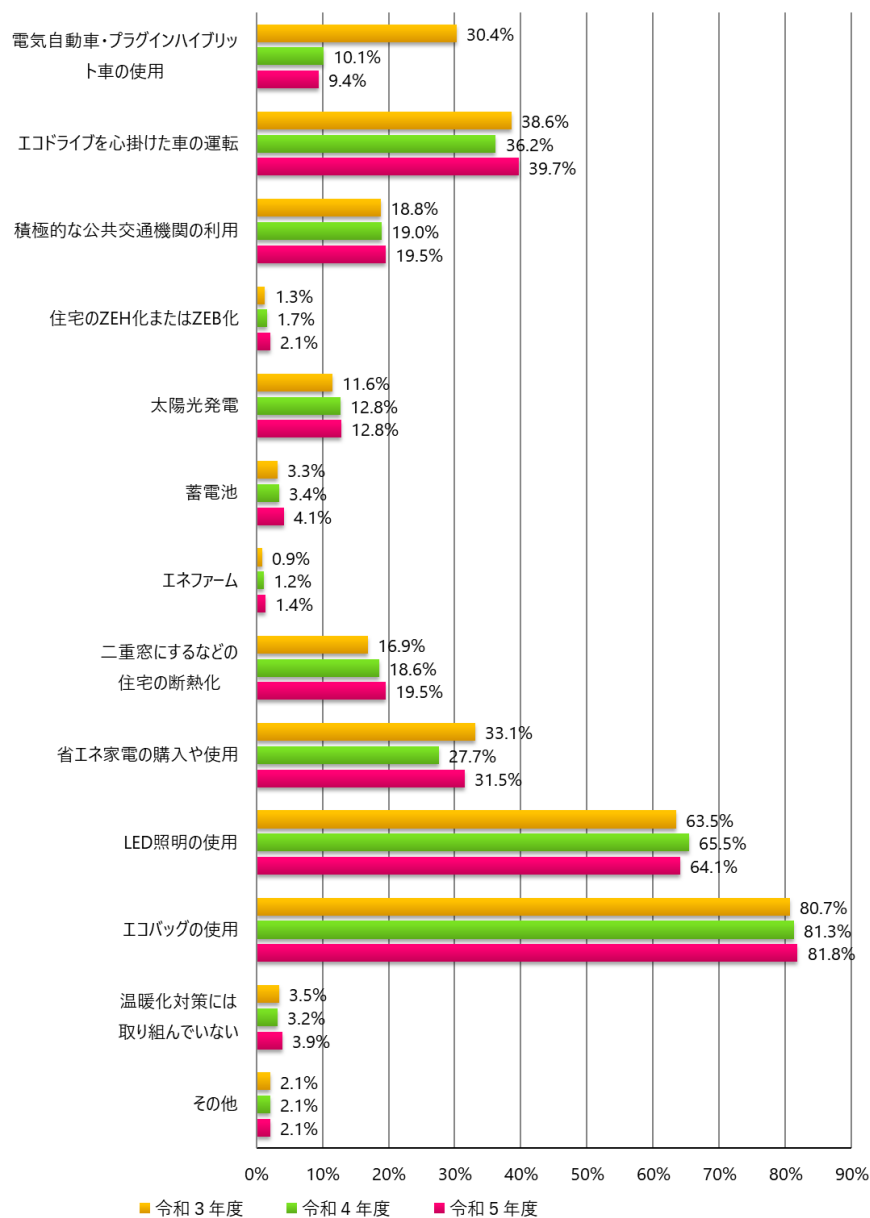
「集合住宅（賃貸等）」は中央区が36.6%と最も高く、次いで東区（29.9%）、北区（24.7%）となっている。

【属性別回答】

	合計	戸建住宅 (自己所有)	戸建住宅 (賃貸等)	集合住宅 (自己所有)	集合住宅 (賃貸等)	無回答
全体	942	53.2%	3.9%	12.4%	27.8%	2.7%
年齢別						
10 歳代	9	44.4%	0.0%	11.1%	44.4%	0.0%
20 歳代	53	20.8%	11.3%	1.9%	64.2%	1.9%
30 歳代	105	46.7%	1.0%	10.5%	41.9%	0.0%
40 歳代	144	52.1%	5.6%	11.8%	30.6%	0.0%
50 歳代	146	47.9%	5.5%	14.4%	30.8%	1.4%
60 歳代	170	61.2%	3.5%	17.6%	15.9%	1.8%
70 歳代	188	59.6%	1.6%	11.7%	22.3%	4.8%
80 歳以上	83	65.1%	4.8%	7.2%	16.9%	6.0%
職業別						
会社員	406	46.6%	6.2%	13.1%	33.5%	0.7%
自営業	66	50.0%	3.0%	21.2%	21.2%	4.5%
農林漁業	9	88.9%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%
公務員	55	52.7%	1.8%	10.9%	34.5%	0.0%
学生	11	36.4%	0.0%	9.1%	54.5%	0.0%
主婦・主夫	129	71.3%	2.3%	11.6%	12.4%	2.3%
無職	201	56.7%	2.5%	10.0%	26.9%	4.0%
その他	17	52.9%	0.0%	0.0%	47.1%	0.0%
地区別						
中央区	211	32.7%	2.4%	26.5%	36.0%	2.4%
東区	234	53.4%	6.0%	8.5%	29.9%	2.1%
西区	119	58.8%	2.5%	15.1%	21.8%	1.7%
南区	161	64.0%	4.3%	4.3%	23.6%	3.7%
北区	170	66.5%	4.1%	4.1%	24.7%	0.6%

問 2 4. 地球温暖化対策として実際に導入している（されている）、もしくは取り組んでいることはありますか。（いくつでも可）

「エコバッグの使用」が 81.8%と最も高く、次いで「LED 照明の使用」が 64.1%、「エコドライブを心掛けた車の運転」が 39.7%となっている。



【参考】

「その他」の内容（20 件）

- ・ 庭（土）があるので、土に還る草とかはごみに出さずに庭に還している。
- ・ できる限り 3 Rを意識した生活をしている。
- ・ 水筒を持ち歩き、ペットボトルは買わない。
- ・ 徒歩や自転車で移動できる範囲は移動する。
- ・ 自動車所有しているが、できるだけ自転車を利用している。
- ・ エアコンの設定温度を極端にしない。
- ・ 電力会社のホームページでは消費電力量が細かく表示されるので、使いすぎないように参考にする。

【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「電気自動車・プラグインハイブリッド車の使用」は70歳代が最も高く、「エコドライブを心がけた車の運転」と「省エネ家電の購入や使用」、「LED照明の使用」は60歳代、「積極的な公共交通機関の利用」と「温暖化対策には取り組んでいない」は80歳以上、「住宅のZEH化またはZEB化」と「太陽光発電」、「蓄電池」、「エコバックの使用」は10歳代、「エネファーム」は30歳代、「二重窓にするなどの住宅の断熱化」は40歳代と最も高くなっている。

職業別：「電気自動車・プラグインハイブリッド車の使用」は自営業が最も高く、「エコドライブを心掛けた車の運転」はその他、「積極的な公共交通機関の利用」と「住宅のZEH化またはZEB化」は学生、「太陽光発電」と「二重窓にするなどの住宅の断熱化」、「温暖化対策には取り組んでいない」は公務員、「蓄電池」と「省エネ家電の購入や使用」は農林漁業、「エネファーム」は会社員、「LED照明の使用」と「エコバックの使用」は主婦・主夫と最も高くなっている。

地区別：「電気自動車・プラグインハイブリッド車の使用」と「住宅のZEH化またはZEB化」、「太陽光発電」、「蓄電池」は南区が最も高く、「エコドライブを心掛けた車の運転」は西区、「積極的な公共交通機関の利用」と「LED照明の使用」、「エコバックの使用」は中央区、「エネファーム」東区が、「二重窓にするなどの住宅の断熱化」と「省エネ家電の購入や使用」、「温暖化対策には取り組んでいない」は南区と最も高くなっている。

住宅別：「電気自動車・プラグインハイブリッド車の使用」と「積極的な公共交通機関の利用」、「省エネ家電の購入や使用」、「LED照明の使用」、「エコバックの使用」は集合住宅（自己所有）が最も高く、「エコドライブを心掛けた車の運転」と「住宅のZEH化またはZEB化」、「太陽光発電」、「蓄電池」、「エネファーム」、「二重窓にするなどの住宅の断熱化」は戸建住宅（自己所有）、「温暖化対策には取り組んでいない」は集合住宅（賃貸等）となっている。

【属性別回答】

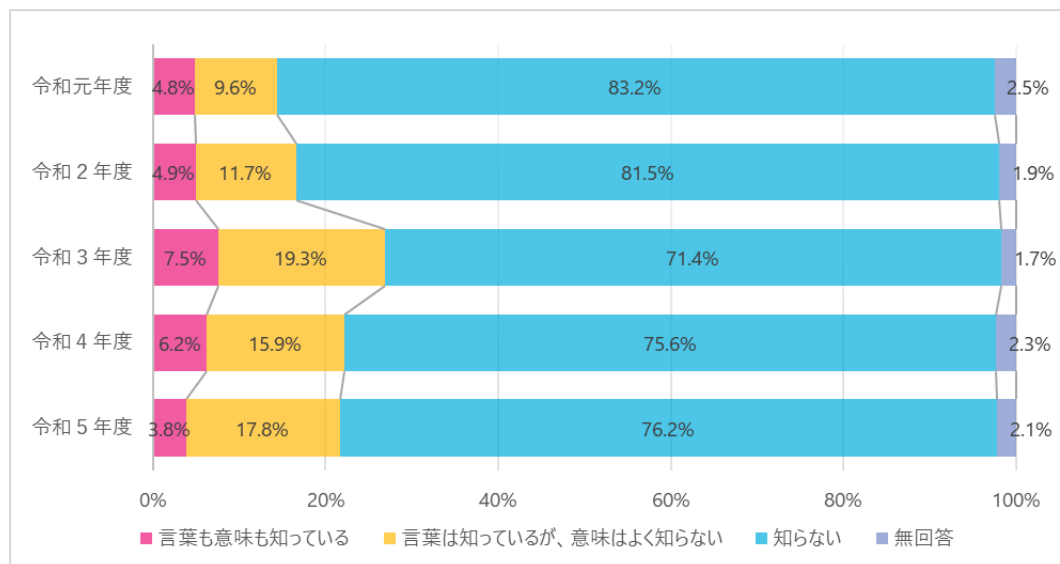
	合計	電気自動車・プラグインハイブリッド車の使用	エコドライブを心掛けた車の運転	積極的な公共交通機関の利用	住宅のZEH化またはZEB化	太陽光発電	蓄電池	エネファーム	二重窓にするなどの住宅の断熱化	省エネ家電の購入や使用	LED照明の使用	エコバツグの使用	温暖化対策にない取り組み	その他
全体	942	9.4%	39.7%	19.5%	2.1%	12.8%	4.1%	1.4%	19.5%	31.5%	64.1%	81.8%	3.9%	2.1%
年齢別														
10歳代	9	11.1%	11.1%	22.2%	11.1%	22.2%	11.1%	0.0%	0.0%	22.2%	22.2%	88.9%	0.0%	11.1%
20歳代	53	1.9%	28.3%	11.3%	3.8%	11.3%	3.8%	0.0%	1.9%	18.9%	47.2%	75.5%	3.8%	1.9%
30歳代	105	7.6%	44.8%	15.2%	1.9%	21.9%	7.6%	3.8%	21.0%	22.9%	54.3%	78.1%	5.7%	1.0%
40歳代	144	9.0%	42.4%	10.4%	2.8%	19.4%	4.2%	2.1%	25.0%	31.3%	61.8%	77.8%	6.3%	4.2%
50歳代	146	11.0%	43.8%	16.4%	2.7%	16.4%	5.5%	0.0%	20.5%	24.7%	70.5%	87.0%	3.4%	4.1%
60歳代	170	11.2%	48.8%	18.8%	2.4%	8.2%	1.8%	1.8%	23.5%	44.1%	73.5%	88.8%	2.4%	1.2%
70歳代	188	12.8%	39.4%	26.1%	1.1%	8.0%	4.8%	1.6%	19.7%	33.5%	65.4%	83.0%	2.1%	1.1%
80歳以上	83	6.0%	18.1%	39.8%	0.0%	7.2%	1.2%	0.0%	12.0%	32.5%	61.4%	79.5%	8.4%	0.0%
職業別														
会社員	406	11.1%	44.1%	15.3%	1.2%	13.8%	4.4%	2.2%	18.0%	29.3%	65.0%	82.3%	4.2%	2.5%
自営業	66	13.6%	39.4%	22.7%	4.5%	9.1%	3.0%	1.5%	19.7%	39.4%	65.2%	81.8%	4.5%	1.5%
農林漁業	9	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	22.2%	11.1%	0.0%	0.0%	44.4%	66.7%	66.7%	0.0%	11.1%
公務員	55	7.3%	36.4%	18.2%	7.3%	27.3%	9.1%	0.0%	34.5%	25.5%	52.7%	70.9%	9.1%	5.5%
学生	11	9.1%	18.2%	27.3%	9.1%	18.2%	9.1%	0.0%	0.0%	27.3%	36.4%	81.8%	0.0%	9.1%
主婦・主夫	129	8.5%	41.1%	27.1%	2.3%	14.0%	5.4%	0.0%	24.0%	33.3%	72.1%	93.0%	0.8%	0.8%
無職	201	7.5%	33.8%	24.9%	1.0%	8.0%	2.0%	1.5%	17.9%	33.3%	62.2%	82.1%	5.0%	1.0%
その他	17	5.9%	47.1%	17.6%	0.0%	17.6%	0.0%	0.0%	17.6%	35.3%	52.9%	76.5%	5.9%	0.0%
地区別														
中央区	211	8.1%	33.2%	29.4%	0.9%	6.6%	2.4%	1.9%	15.6%	28.4%	65.9%	85.3%	1.9%	2.4%
東区	234	10.3%	40.2%	18.8%	2.6%	15.8%	5.6%	2.6%	21.8%	32.1%	64.5%	81.6%	3.4%	1.7%
西区	119	10.9%	45.4%	21.8%	0.8%	12.6%	1.7%	0.8%	16.8%	26.1%	63.9%	81.5%	3.4%	0.8%
南区	161	11.2%	42.2%	11.2%	3.7%	17.4%	6.8%	0.6%	21.1%	31.1%	65.2%	79.5%	5.6%	1.2%
北区	170	8.8%	43.5%	15.3%	2.4%	14.1%	4.1%	0.6%	22.4%	38.8%	61.2%	84.7%	6.5%	4.1%
住宅別														
戸建住宅（自己所有）	519	10.2%	42.6%	14.1%	3.7%	20.4%	6.9%	2.5%	27.9%	35.3%	68.2%	80.5%	3.1%	1.7%
戸建住宅（賃貸等）	50	8.0%	30.0%	22.0%	2.0%	8.0%	2.0%	0.0%	6.0%	24.0%	44.0%	56.0%	2.0%	0.0%
集合住宅（自己所有）	118	12.7%	34.7%	31.4%	0.0%	4.2%	0.8%	0.0%	16.9%	37.3%	68.6%	87.3%	2.5%	1.7%
集合住宅（賃貸等）	310	4.5%	29.0%	18.7%	0.0%	1.0%	0.0%	0.0%	4.2%	16.5%	43.5%	67.4%	5.5%	2.6%

問25.「デコ活」又は「COOL CHOICE」について知っていますか。(1つだけ)

令和5年度より「COOL CHOICE」について知っていますか。との設問を修正したものである。

「知らない」が76.2%と最も高く、次いで「言葉は知っているが、意味はよく知らない」が17.8%、「言葉も意味も知っている」が3.8%となっている。

「言葉も意味も知っている」と「言葉は知っているが、意味はよく知らない」を合わせた割合は21.6%となり、前回調査から0.5ポイント減少している。



【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「言葉も意味も知っている」、「言葉は知っているが、意味はよく知らない」を合わせた割合は60歳代が26.4%と最も高く、次いで70歳代（25.5%）、30歳代（21.9%）となっている。

職業別：「言葉も意味も知っている」、「言葉は知っているが、意味はよく知らない」を合わせた割合は公務員が36.4%と最も高く、次いで自営業（22.7%）、会社員（22.5%）となっている。

【属性別回答】

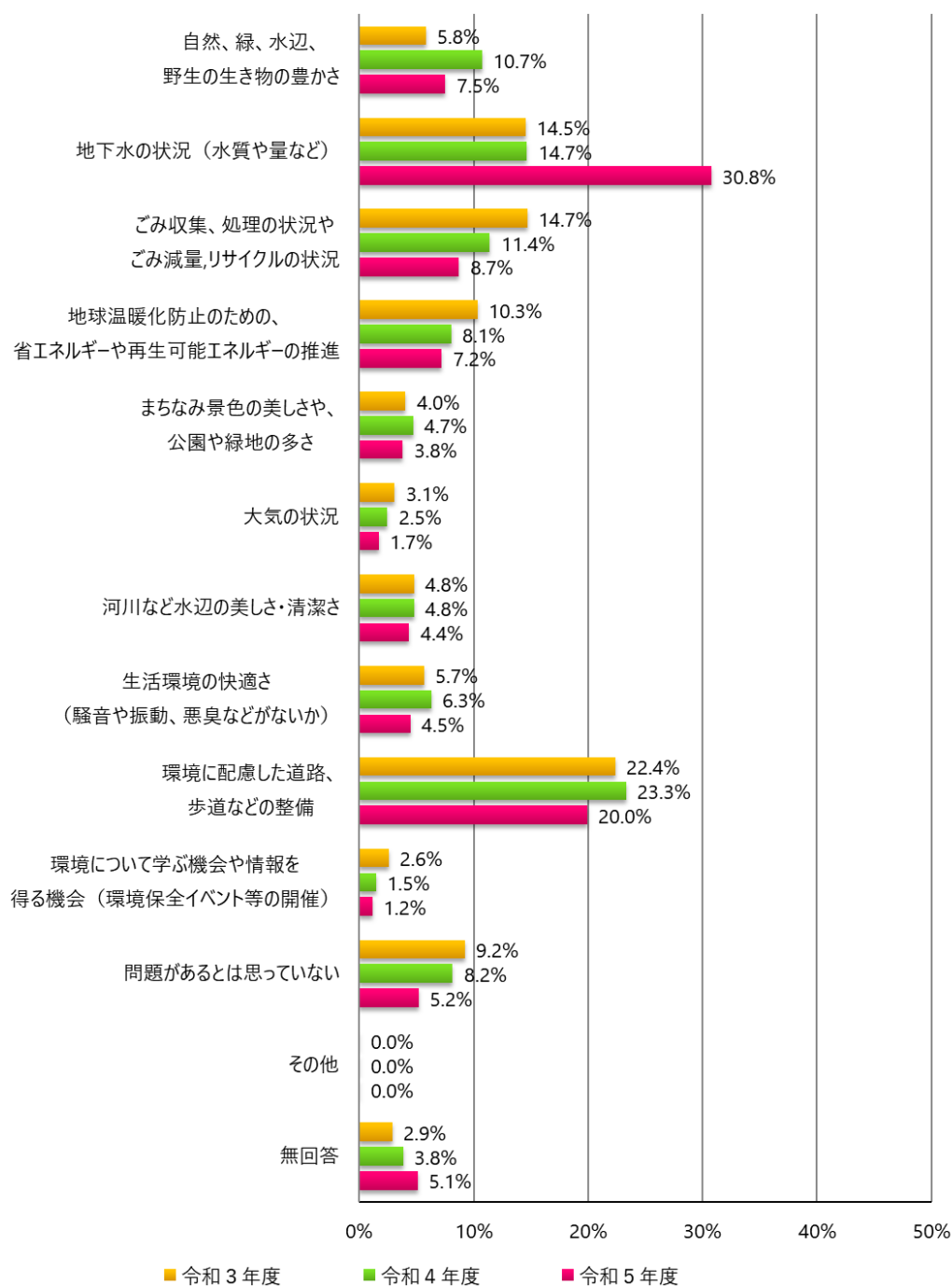
	合計	言葉も意味も知っている	言葉は知っているが、意味はよく知らない	知らない	無回答
全体	942	3.8%	17.8%	76.2%	2.1%
年齢別					
10 歳代	9	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
20 歳代	53	3.8%	17.0%	79.2%	0.0%
30 歳代	105	4.8%	17.1%	78.1%	0.0%
40 歳代	144	3.5%	12.5%	84.0%	0.0%
50 歳代	146	0.7%	20.5%	78.8%	0.0%
60 歳代	170	3.5%	22.9%	72.4%	1.2%
70 歳代	188	6.4%	19.1%	70.7%	3.7%
80 歳以上	83	3.6%	18.1%	74.7%	3.6%
職業別					
会社員	406	3.0%	19.5%	77.6%	0.0%
自営業	66	4.5%	18.2%	75.8%	1.5%
農林漁業	9	0.0%	22.2%	77.8%	0.0%
公務員	55	7.3%	29.1%	61.8%	1.8%
学生	11	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
主婦・主夫	129	4.7%	17.1%	76.0%	2.3%
無職	201	4.5%	16.4%	75.6%	3.5%
その他	17	0.0%	5.9%	94.1%	0.0%
地区別					
中央区	211	4.7%	16.1%	77.3%	1.9%
東区	234	4.3%	19.2%	74.8%	1.7%
西区	119	3.4%	14.3%	81.5%	0.8%
南区	161	2.5%	20.5%	76.4%	0.6%
北区	170	2.9%	20.0%	75.9%	1.2%

■「熊本市内の環境問題」について

問 2 6. 現在の熊本市内の環境の現状について、あなたが一番問題と思われることは何ですか。(1つだけ)

「地下水の状況（水質や量）」が 30.8%と最も高く、次いで「環境に配慮した道路」が 20.0%、「ごみ収集、処理の状況やごみ減量、リサイクルの状況」が 8.7%、となっている。

「地下水の状況（水質や量）」は前回調査と比較すると 16.1 ポイント増加している。



【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「自然、緑、水辺、野生の生き物の豊かさ」と「まちなみの景色の美しさや、公園や緑地の多さ」、「大気の状態」は30歳代が19.0%、7.6%、4.8%、「地下水の状態」は60歳代が38.8%、「ごみ収集、処理の状態やごみ減量、リサイクルの状態」と「河川などの美しさや、清潔さ」、「生活環境の快適さ」は10歳代が33.3%、11.1%、22.2%、「地球温暖化防止のための、省エネルギーや再生可能エネルギーの推進」は70歳代が13.3%、「環境に配慮した道路、歩道などの整備」は20歳代が32.1%、「環境について学ぶ機会や情報を得る機会」は50歳代が2.1%で最も高くなっている。

職業別：「自然、緑、水辺、野生の生き物の豊かさ」はその他が17.6%、「地下水の状態」は自営業が40.9%、「ごみ収集、処理の状態やごみ減量、リサイクルの状態」と「生活の快適さ」、「環境に配慮した道路、歩道などの整備」は学生が27.3%、18.2%、27.3%、「地球温暖化防止のための、省エネルギーや再生可能エネルギーの推進」と「河川など水辺の美しさ・清潔さ」は無職が10.1%、7.0%、「まちなみ景色の美しさや、公園や緑地の多さ」は農林漁業が11.1%、「大気の状態」と「環境について学ぶ機会や情報を得る機会」は公務員が3.6%、1.8%と最も高くなっている。

地区別：「自然、緑、水辺、野生の生き物の豊かさ」と「地下水の状態」、「地球温暖化防止のための、省エネルギーや再生可能エネルギーの推進」、「まちなみ景色の美しさや、公園や緑地の多さ」は中央区が10.4%、35.5%、8.1%、5.2%、「環境に配慮した道路、歩道などの整備」は東区が26.9%、「大気の状態」は西区が2.5%、「ごみ収集、寄りの状況やゴミ減量、リサイクルの状況」と「河川などの水辺の美しさ・清潔さ」、「環境について学ぶ機会や情報を得る機会」は南区が12.4%、6.2%、2.5%、「生活環境の快適さ」は北区と最も高くなっている。

【属性別回答】

	合計	野生の生き物の豊かさ	自然、緑、水辺、	地下水の状況（水質や量）	ごみ減量、リサイクルの状況	地球温暖化防止のための、省エネルギーや再生可能エネルギーの推進	緑地の多さ	まちなみ景色の美しさや、公園や	大気の状況	河川など水辺の美しさ・清潔さ	生活環境の快適さ（騒音や振動、悪臭などがないか）	歩道などの整備	環境に配慮した道路、	環境について学ぶ機会や情報を得る機会（環境保全イベント等を開催）	問題があるとは思っていない	無回答
全体	942	7.5%	30.8%	8.7%	7.2%	3.8%	1.7%	4.4%	4.5%	20.0%	1.2%	5.2%	5.1%			
年代別																
10歳代	9	0.0%	11.1%	33.3%	11.1%	0.0%	0.0%	11.1%	22.2%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%			
20歳代	53	11.3%	18.9%	7.5%	7.5%	1.9%	0.0%	5.7%	11.3%	32.1%	0.0%	3.8%	0.0%			
30歳代	105	19.0%	21.0%	6.7%	5.7%	7.6%	4.8%	4.8%	1.9%	21.9%	1.0%	5.7%	0.0%			
40歳代	144	9.0%	28.5%	6.9%	4.9%	0.7%	1.4%	5.6%	6.9%	22.9%	1.4%	11.8%	0.0%			
50歳代	146	4.8%	34.2%	8.9%	4.8%	3.4%	1.4%	5.5%	4.1%	25.3%	2.1%	3.4%	2.1%			
60歳代	170	7.1%	38.8%	9.4%	5.3%	5.3%	2.4%	1.8%	4.7%	18.2%	1.8%	2.9%	2.4%			
70歳代	188	4.8%	31.4%	10.1%	13.3%	2.7%	1.6%	5.3%	3.2%	12.8%	0.0%	5.3%	9.6%			
80歳以上	83	4.8%	33.7%	12.0%	7.2%	3.6%	0.0%	3.6%	2.4%	16.9%	1.2%	3.6%	10.8%			
職業別																
会社員	406	8.1%	30.5%	8.6%	6.4%	3.0%	1.7%	3.7%	4.9%	24.4%	1.0%	6.2%	1.5%			
自営業	66	6.1%	40.9%	4.5%	6.1%	4.5%	1.5%	4.5%	9.1%	13.6%	1.5%	4.5%	3.0%			
農林漁業	9	11.1%	22.2%	22.2%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	11.1%	11.1%	0.0%	11.1%	0.0%			
公務員	55	12.7%	38.2%	9.1%	1.8%	3.6%	3.6%	5.5%	1.8%	16.4%	1.8%	5.5%	0.0%			
学生	11	9.1%	9.1%	27.3%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%	18.2%	27.3%	0.0%	0.0%	0.0%			
主婦・主夫	129	7.0%	26.4%	10.9%	8.5%	6.2%	3.1%	3.9%	3.9%	20.2%	0.8%	3.1%	6.2%			
無職	201	6.0%	30.3%	10.0%	10.0%	3.0%	1.0%	7.0%	3.5%	14.9%	1.0%	5.5%	8.0%			
その他	17	17.6%	35.3%	0.0%	5.9%	0.0%	0.0%	5.9%	0.0%	17.6%	0.5%	0.5%	16.7%			
地区別																
中央区	211	10.4%	35.5%	8.5%	8.1%	5.2%	2.4%	2.8%	5.7%	14.2%	0.9%	1.4%	4.7%			
東区	234	8.5%	26.9%	6.4%	7.7%	1.7%	1.7%	3.8%	4.7%	26.9%	0.9%	6.4%	4.3%			
西区	119	5.0%	31.9%	11.8%	6.7%	4.2%	2.5%	5.9%	2.5%	21.8%	0.8%	4.2%	2.5%			
南区	161	8.7%	28.0%	12.4%	6.2%	5.0%	1.2%	6.2%	3.7%	15.5%	2.5%	6.2%	4.3%			
北区	170	5.3%	32.4%	8.8%	7.6%	1.8%	1.2%	5.3%	5.9%	20.6%	0.6%	7.6%	2.9%			

問27. あなたが問26で回答されたことについて、どのような課題や問題があると思われますか。ご自身のお考えを具体的に記入してください。

◆いただいた意見を25の項目に分類し、重複するものを除き掲載している。

1「自然、緑、水辺、野生の生き物の豊かさ」についての意見

◇緑について

- ・街中の緑が少なくなりつつある。街路樹が切られ、そのまま木が残っていても強めの剪定で枝ばかりになっている。「森の都」とは言えなくなっているように思う。
- ・もう少し緑が増えて町が美しくなってほしい。熊本はすごく自然がきれい。

◇自然について

- ・大手企業が進出し、熊本市の経済が豊かになる一方、熊本の景色（田園・空気、木々）が急速に変化している。経済は繁栄するかもしれないが、徐々に進めて熊本の自然も守りたい。
- ・江津湖の自然を守ってほしい。

◇生物多様性について

- ・子どもの頃には流れていた川が枯れてしまい、水辺の生き物に今の子どもたちが触れ合う機会が減ってしまった。住宅やマンション等が増え、田畑等も減り、身近にいた生物たちが減った。代わりに害虫や害獣も減りはしたので環境としては安全になり、住みやすくなったと感じる部分もある。今の大人たちも次の大人たちも生き物を感じられる公園が欲しい。
- ・温暖化で生物はどうなるのか。

◇その他

- ・「自然、緑、水辺、野生の生き物の豊かさ」を整えていくことで、すべてにつながるのではないと思う。仕事で毎日いろいろな地域や場所へ行くが、大きな通りや街並みはそれなりにきれいにしているが、目立たない小さな小川や用水路には、ゴミがたくさんあり悪臭を放つところもある。大人になってもゴミ出しのルールを守れない人が多いので子どもに対しても学校の教育だけに任せるのではなく、家庭でも環境に対して親として子どもと一緒に考え行動に移していけるようになれば良いと思う。

2「地下水の状況（水質や量など）」についての意見

◇地下水保全について

- ・海外の工場の建設などで、水を大量に使うことが多くなれば今までのように地下水に頼った生活が維持できるのかとても気になる。
- ・熊本はきれいな水に恵まれていると思う。これからも川や田んぼ、汚さないように生活していきたいと思う。
- ・熊本の水は他県と比較してとてもおいしい。今後、工場とかの誘致が進む際、その水の影響がないようにしてほしい。
- ・半導体関連企業の進出は喜ばしいが、熊本市等下流域への地下水減少とならないか心配。定期的な情報公開をお願いしたい。
- ・工場で使われる水をどのように排水するのか最初が大事なものでしっかりとした基準を作してほしい。水は未来の人への贈り物となるように守ってほしい。

◇水質について

- ・地下水の状況、水質汚染について最近テレビで聞いたので汚染が心配。
- ・川と井戸水から発がん性物質が検出された件が私としては一番の問題と考える。なぜならば、水道水などに影響して健康を害することが心配。
- ・井戸水から発がん性成分の基準値を超えた数値が確認されたとのニュースを見て、原因がわからないとのことで不安を感じる。

◇水量について

- ・海外からの工場進出により、地下水を大量に使用すると聞いている。水不足、汚染など、心配している。また、江津湖周辺の水の渇水も心配。
- ・熊本にはT SMCの大企業が着工している。現在までは熊本の誇りである地下水の豊富さとおいしい水と自慢が将来どうなるのか？一番心配。

◇広報啓発について

- ・広報活動されているのであれば周知が足りていないのではと思う。HPだけでなく、観光地や、サクラマチ等、もっと目につく場所でキャンペーン等をする方が市民への安心にも繋がるのではないかな。知らないことが不安にも不信にもつながる。途中経過でもよいのでもっと詳しく知りたい。

◇節水について

- ・豊富にあると思いがちだが、半導体産業でも水を大量に使うことになることから限りある資源という考えにのっとり、節水に心がけ、将来も水を気持ちよく使えるように努力すべきだと考える。
- ・日常生活における節水はもとより、かん養などを含め、抜本的、継続的対策が必要と考える。

3「ごみ収集、処理の状況やごみ減量、リサイクルの状況」についての意見

◇ルール違反ごみや不法投棄について

- ・ゴミがきちんと分別されておらず、ごみ収集日関係なく出している人が多い。
- ・ゴミ出しマナーが悪く、前日の夕方頃からゴミを出していたり、きちんと分別されていないゴミがあったりする。ゴミ置き場が道路に面しているため、運転中のドライバーがゴミ置き場にゴミを投げ入れたり、専用のゴミ袋に入れていないゴミを別の袋に入れた状態でゴミ置き場において車で去っていったりするのを何度か見かけたことがある。ゴミ出しのルールを守っている近所の人たちと、なぜマナーを守らないのかと頭を抱えている。

◇リサイクルについて

- ・スーパーマーケットなどポイント制でペットボトルや紙を収集しているところがあるので、それを行政の方々に周知してみてもどうか。また、他の小さなスーパーやコンビニにそのようなポイントでゴミを買い取るシステムに行政のほうから補助を出せばもっとリサイクルが進むのではないかなと思う。
- ・ゴミは、生ゴミ（週2回）プラスチック（週1回）は別として、利用されるゴミの種類をもう少し増やしリサイクル活動に利用したらと思う。
- ・出す人がゴミとも思っても、それをリサイクルできる人もいると思う。リサイクルできるものがどんなものかわからないので一覧表みたいな物があれば少しはわかるのではないかなと思う。
- ・プラスチック製品を作らない、買わない。ムダなものを買わない。リサイクルが本当にできているのか不明。
- ・リサイクルがきちんとされていない（プラや紙が燃やすゴミに出してあるなど）。意外と年配の方が面倒くさがってやらないのが多い。

◇ごみの分別について

- ・埋立ゴミをもっとこまかく分類した方がいいと思う。
- ・他県と比べ、ゴミの分別が大まかすぎる。
- ・可燃物にビン缶を入れるなど、ごみ分別をしっかりと行っていない人がいる。収集カレンダーをよく見てないと思う。

◇ごみの減量、ごみ袋有料化について

- ・ゴミ置き場が他の所から粗大ごみの放置などで地域の人々が代わりにお金を出して引き取ってもらったりすることに疑問を抱くことが多くなっている。一人ひとりの行動がごみ減量リサイクルにつながることをもっと考えるべきだと思う。
- ・お店で売っている肉などのパック（トレイ）をすぐ捨てるのはもったいない。袋売り、量り売りを検討してほしい。

◇プラスチック問題について

- ・分別を理解していない人が多い。プラスチック製品＝燃えるゴミ。「プラ」印等のプラスチック容器包装。この違いをもっと啓発してほしい。

◇収集・回収について

- ・近隣のゴミ収集日に出されたゴミを通りがかりに見ていると、分別されていないものが多く、また、分別されていないがためにずっと収集されていないゴミがある。
- ・カラスにゴミを荒らされないよう、福岡市のように深夜収集をすればどうかと思う。夜暗くなってゴミ出しして朝までになくなっていけば荒らされないのではないかと思う。
- ・ゴミの回収場所に曜日が違うゴミを出している人もいる。回収の回数を増やせば守る人も増えるのではないだろうか。燃えるゴミは特に週2日から3日に増やす等、家に置いておくのが嫌だから曜日関係なく捨てる人が少なくないと思う。ゴミを捨てに行った際、曜日の違うものがあつたり、虫がわいたり、猫や鳥がいるのを見たこともある。他の場所にも車で通った際、違うものが捨ててあるのを見かけるので大変だとは思いますが回収の回数を増やすことで曜日関係なく捨てる人が減ると思う。

◇清掃活動について

- ・目の前に落ちているゴミを拾うことから美化作業は始まるのではないだろうか。公道で所かまわずポイ捨てる者がいる限り環境の意識が生まれてこないと思う。町の美しさはそこに住む住人の意識を表すと思う。それぞれが自分の家の前を朝から掃除することで通行人の環境意識も芽生えてくるのではと思う。自身の周りを見守りながら生きるのも健康づくりと良い環境づくりという意味でよいのではないか。地域、人とコミュニケーションを取り、作り上げる人間ならではの住みやすい環境ができたらと心から願うものである。

◇広報啓発について

- ・ゴミ収集、リサイクル状況を「市政だより」で知らせていただくとともに積極的に取り組めるのではないかと思う。

◇その他

- ・自分ができること、身近なゴミ分別の徹底、過剰包装、温度管理など気をつけたい。
- ・自分では、生ゴミは必ず干して軽くしてから出すように心がけている。一番残念に思うことは、心ない少数の人のガス缶等の処理の仕方が悪いなど清掃車に被害が及び市の大きな負担となったりすること。本当に残念に思う。一寸気を配れば防げる。
- ・ゴミ収集、処理にこれ以上の負担をかけないことがとても大切だと思う。食品ロス削減と同じくその他の日用品や電化製品においても衝動買いや無駄買いを極力控えるなど、私たちの意識改革が最も必要だと思う。
- ・各自がゴミを減らす努力をする必要があると思う。

4「地球温暖化防止のための、省エネルギーや再生可能エネルギーの推進」についての意見

◇気候変動・温暖化について

- ・温暖化を防ぐ必要があるのは解っていても具体的に個人個人にできることがなんなのかよく分っていない。
- ・夏の高温で子供が外で遊べない日が続くと温暖化の深刻さを感じずにはいられない。
- ・温室効果ガスの減少により地球の温暖化は防げると思う。
- ・温暖化が進行しており暖房を使う機会が増えて悪循環だと思う。
- ・確実に地球温暖化は進んでいるので少しでも力になるならするべきだと思う。しかし、メガソーラーは本末転倒なので、大型ショッピングモールの駐車場や、ヒートアイランド現象の緩和のためにも歩道や道路の上に屋根をつけるような感じでソーラーパネルを設置できると効率的なのではないかなと思う。

- ・二酸化炭素によりオゾン層が破壊することを各個人が認識し、温暖化がこれ以上進まないよう自ら行動する。
- ・道路ののり面をコンクリートで覆うことは温暖化に逆行している。

◇省エネルギーについて

- ・地球温暖化防止のために、今、私ができることは限りがあるが、生活環境の中でまず無駄をなくすことに気をつけている。冷暖房はなるべく設定温度を下げ、使わない電気・電源はオフにしている。
- ・車で出かける距離の場合、公共交通機関で出かけるようにする。近い距離の場合はなるべく徒歩で出かけるようにする。

◇再生可能エネルギーについて

- ・川の水が多い地域では水力発電の推進を。温泉地では地熱発電の推進を。
- ・風力発電や太陽光等の資源をもっと活用してもらいたい。
- ・省エネ等の推進している企業も増えている中で、家庭に浸透しているのか。企業努力はある程度感じるが個人努力として推している感じがしない。行動を後押しするような対策も見られないし、個人的には市として勧めているかも疑問に思う。

◇その他

- ・ノーマイカーデー等、エネルギーを大事にする心がけを皆がもてるような社会の変化をめざす。
- ・自宅に太陽光発電機を取り付けたいと思ってもどんな所に価格がいくらぐらいで購入できるのかわからない、宣伝を含めた案内のような広告が欲しい。
- ・再生エネルギーの活用等どのような取り組みを行っているかよくわからないのでPRしていくことが必要と思う。

5「まちなみ景色の美しさや、公園や緑地の多さ」についての意見

◇街並みについて

- ・幹線道路の路肩周辺の草刈り等が不十分である。桜の季節には桜は咲いているものの桜の木には枯れ草や雑草があって景色の悪いことが毎年である。他県から来た人たちは、街の中心部はきれいに整備されているようだが河川通り等は雑草が目立っているという声もある。
- ・市内に住む私たちには緑の多い街並みはとても良いことだが、街路樹や公園の樹木など4,900本が根腐れなどで倒れる恐れがあることを知り、ただ美しいだけではいけないと思った。倒木事故がきっかけで点検し、これからの安心安全につながっていったらうれしいし、環境面も大事にしてほしい課題と思う。
- ・熊本市の中心街ではゴミが落ちていて、街並みがきれいだと感じることができず、公園も草木や木が生い茂っていて整地されていない。
- ・熊本城がある為の中心街のビルの高さ制限は今以上の緩和が必要だと思われる。あまりにも他都市と比較しても貧弱であり、土地の有効活用につながっていない。高層ビルを立てることにより空いた空間に緑を増やし、街並みの美しさを保つことが重要だと思われる。
- ・緑はとても多いが、子どもが遊ぶ公園が少ない。福岡や佐賀は広く魅力的な遊具のある公園が数多くある。入場料を多少とってもそんな場を増やしてほしい。坪井の公園も立派だが人が密集しすぎてそこしかいくところがないのだろうという感じがする。

◇公園や緑地について

- ・自宅近くに、遊水池緑地公園がある。そこには20年前、野生のタヌキやアヒルやカモが沢山いた。それを楽しみに祖父母と散歩に行っていたこともあった。しかし、現在は池の水も乾燥というか、水不足になり、アヒルやカモは近くで見かけることがなくなった。また、草が生えすぎていて坪井川は公園からよく見えないし、水もあまりきれいとは言えず、せつかくの緑や野生の生き物の景観が損なわれている気がする。
- ・子どもの頃には流れていた川が枯れてしまい、水辺の生き物に今の子どもたちが触

れ合う機会が減ってしまった。住宅やマンション等が増え、田畑等も減り、身近にいた生物たちが減った。代わりに害虫や害獣も減りはしたので環境としては安全になり、住みやすくなったと感じる部分もある。今の大人たちも次の大人たちも生き物を感じられる公園が欲しい。

- ・公園がなく、あまり整備されていない。子どもが遊べる公園が少ない。あれはダメ、これはダメとあるが、小さな子が遊ぶボールやバドミントンを禁止するのはどうかと思う。単なる「広場」が増えている。
- ・街の中心近くに市民が利用できる公園などが欲しい。

6「大気の状態」についての意見

- ・熊本市内に限らないが、PM2.5など、空気の汚染が気になる。
- ・たまに地域で燃やす方もいるので注意はムリなのでそのままにしているが、大気汚染になるのでやめてほしい。
- ・車の渋滞による排気ガスの多さ。

7「河川など水辺の美しさ、清潔さ」についての意見

- ・川にゴミが投げ捨てられており汚れている。
- ・私は熊本が大好き。周囲を見ても、緑が見える熊本で安心できる。熊本城の周囲に大きな木が大好きでホッとできる。ただ、河の草の所にゴミが落ちているのが残念。ゴミをとると思うがやはり拾うことができない。
- ・熊本は意外に川にペットボトルが浮いている。一人ひとりが気をつけていくことだと思う。
- ・家の裏に白川があるが、とてもきれいに整備されていて散歩をする人をよく見かける。その反面、勝手にバーベキューなどをして燃えたままの炭ゴミを置いたままなどルールを守らない人もいる。お散歩コースとしてはとても良いが、子どもたちが簡単に川に近づけるため危ないと思う。
- ・河川に魚も鳥もいる。でも、あちこちにゴミやプラスチック等が流れていて平気で川にものを捨てている人もいる。魚や鳥たちのことを考えたら川に捨てるということとはできないと思うのだが。河川の手入れも大変なことだと思うが、きれいな河川だったら物を捨てることはないのではと感じる。私たちと同様、動物たちも大事な水だと思う。
- ・人々が安らげる憩いの場を増やすべき。(商業的な箱モノではなく、河川敷を整備するなど…)
- ・荒れたり、汚かったり、管理が行き届いていないと感じる。昔より整備はされているみたいなので、もっと綺麗で色んな人が(散歩や運動などに)活用できるように整備を進めて欲しい。
- ・熊本市内の河川では、この十数年で豪雨、地震などで上流から石や泥が、かなり蓄積されていると思う。その為、市内周辺の河川では川が溢れる事のないように今の川底を深くする必要があると考える。

8「生活環境の快適さ(騒音や振動、悪臭などがないか)」についての意見

◇騒音・振動について

- ・熊本地震後の復興に伴う工事による騒音、振動。
- ・若者車両の騒音(特に朝方)について厳しく取り締まりしてほしい。交通マナーの向上を徹底してほしい。

◇悪臭について

- ・家の前の川に外来種の草が沢山流れてきてとても困っている。端に草が詰まると上流から流れてきたプラスチックごみや空のペットボトルがあって、悪臭がする。そ

のたびに区役所に電話して対応してもらっている。定期的に見回りしていただいたらとても助かる。

- ・中心地（市街地）における極端な騒音、悪臭、どうしようもない部分はあるが、少しずつでも改善してほしいと思う。

◇動物による被害等について

- ・道路に放置されたゴミをカラスが振り回し、中身が散乱している。

9「環境に配慮した道路、歩道などの整備」についての意見

◇道路の整備について

- ・脇道に入ったら、道幅と側溝をきれいにしてもらいたい。雨が降ると水がはけず溜まってしまう。
- ・電線は地中に。電柱がなくなれば安全安心で小さい子も年配者も歩くことができる。
- ・大きな手術をして日常外出の時はステッキを使っている。道路、歩道の整備が悪く、なかなか思うようには行かず、つい下ばかり見て歩いている。一寸したひび割れや段差につまずき転び外へ出ることが恐怖だ。老人にやさしい環境整備を期待したい。
- ・安全な自転車専用道路があれば車を使用せずにいろんな所へ出かけられるが、車道の横にちょっとしたすき間しかないので子どもたちと一緒に自転車に乗っていけない。もう少し広く車幅をとってほしいと思う。

◇歩道・自転車道について

- ・私はいつも自転車であっちこっちに買い物に行くが、1つ気になることがある。どの道も切れ目があり、子どもの足がすっぽりはまるような切れ目がある。「熊本地震」の後でまだ一度には無理だろうが切れ目が大きい所から直してほしい。
- ・自転車道路を増やしてほしい。

◇通学路について

- ・通学路の歩道の整備、確保。地域により整備されておらず子供たちに危険が及ぶのではないかとと思われるところがあること。
- ・通学路になっているが、とにかくカーブと道幅の狭さが問題。そのうえ、若い人が自転車のスピードを出しすぎる。特に、高校生の自転車のマナーが道いっぱい広がるなど悪い。
- ・通学路なのに歩道のない車通りの多い所が近所にあるのできちんと整備してもらいたい。道路がせまいので難しいとは思いますが、自転車用の道路が出来たらいいと思う。

◇渋滞について

- ・交通渋滞で排ガスが増加するので、交通渋滞の解消が必要。
- ・車の多さ（量）に比べて、道路の整備が全く不十分であり、日々の道路の渋滞に悩まされている。経済損失も莫大なものになると思う。バイパスなどの整備は進めているものの、中心地の車の量はほとんど改善されていない。市電の整備にはもっと本腰を入れて取り組むべき。
- ・熊本は交通網をもう少し充実しないと車の交通量は少なくなる。あとは自転車専用走路を設けることにより、自転車の利用者も増加して、渋滞緩和につながると思う。
- ・交通量が多い割に安全な歩道がいまだに確保されていない場所がある。自転車との並走や追い越し走行するのが怖く感じる。

◇街路樹や植栽について

- ・通学路などの歩道の木や草など手入れができておらず子どもたちがよけて歩いている。狭い歩道については配慮が必要と感じた。
- ・街路樹は手入れがされず見た目が悪い。イチョウの実は臭く歩道には植えてほしくない。伸び放題で自電車や歩道が危ない。

◇公共交通について

- ・なるべく交通手段としてバスや電車を利用したいが、バス停まで離れていたり、バスの便数もどんどん減るなど、やはり車を使うしかない状況。車がなく自転車で行けるところは自転車を使おうと思うが道が狭くて自転車の交通量が多い道などは利用しにくい。
- ・大型バス（定期）をよく見かけるが、朝・晩のみだけで昼間はほとんど客が少ないのでミニバスの増加と回数を増やしてほしいと思う。
- ・高齢になり、積極的に公共交通機関を利用しようと思うが、バス停まで行くのが大変。全般的に（時間帯を見て）小型バスでの運行があればまた、縦横の繋がりがあれば行動しやすくなると思う。

◇道路の維持管理について

- ・道路のライン等が消えていたり薄くなっていたりで見えない。
- ・通学路なのにガードレールがなかったり、歩道がなかったりする所が多いように感じる。子どもたちも心配だし、運転する方も怖い。
- ・中央分離帯や歩道に植樹してある樹木について大きな樹木はよく剪定してあり管理されている所が多いが、背が低い樹木などは剪定されておらず歩道を歩いているときや車道を自転車で走行中によく頭や体に接触し、ふらついたりする。特に車道側に伸びている枝などは早めに剪定してほしいと思う。
- ・自宅近くの道路の電柱がかなり出ている歩く人にも狭くて危なく通行の車も片方がよけて通らないといけない場合がある。通学路でもあるので、子どもたちを守り、渋滞の緩和にもつながると思うので電柱整備をしてほしい。また、チャリチャリの活用はとても良いと思っている。

◇その他

- ・買い物袋を下げて歩いていると離合するのも一苦労な道幅に陥没した箇所、電信柱が意外と多いと感じた。特に自転車の高齢者とすれ違う時は立ち止まって道を譲るようにはするもののハラハラする。
- ・熊本は車がないと行動ができない。大気に悪いと思っていてもどうしても自家用車が必要。

10「環境について学ぶ機会や情報を得る機会（環境保全イベント等の開催）」についての意見

- ・自分たちが住む地域の環境の現状を今一つ把握できていないので（地下水の状況、自然、緑、野生の生き物など）まずは『知ること』だと思う。地域に住む子どもたちの環境に対する意識を高める取り組み（出前授業など）を行うことで、保護者も（大人も）共に学んでいくことにつながっていくのでは…と思う。
- ・環境について学ぶ機会に接したことがない。町内会や自治会での講習があれば参加したいがそういった講習があっていることを知らない。
- ・環境問題に対して熊本市、あるいは自分が住んでいる地区がどのようなことに重点をおいて行っているかよく知らない。もっと広報活動を行うとか、身近な困りごとの調査を行ってほしい。
- ・環境を知るには、まず熊本市における今の熊本市をとりまく環境の状態を知ることだと思うので、まずは、自身の身近な所の課題や問題を持ち寄る機会を作ることだと思う。ここ数年、その機会さえも取れない状態だったので、希薄になっていることも事実であり、発信する場がなかったのではないかな。人の流れの多い街頭で啓発イベントを開催するなど手遅れになる前に熊本市がもっと住みやすく環境の整備に着手すべき時期に来ていると思う。
- ・情報媒体が多い中でも、特定の人にしか興味がない人も大勢いるので（SNS、LINE ニュース、YouTube など）情報を得る機会を増やすためには、大々的な広告を打ち出すしかないと思う。
- ・環境保全について学校や職場で学ぶ機会が必要。

11 問題があるとは思っていない

- ・現状を継続することが重要と考える。
- ・環境に不満はあまりないので今安心して住んでいる。
- ・自分ができるだけすることがいまのところだ。

12 その他

- ・美しい町、文化的な町は別。熊本市としての取り組みには限界がある。

環境に関する市民アンケート調査（お願い）

市民の皆様へ



「環境に関する市民アンケート調査」へのご協力をお願い

日頃から、市政運営に対しましてご理解、ご協力をいただき深く感謝申し上げます。

さて、本市では、令和4年(2022年)3月に策定した「第4次熊本市環境総合計画」に基づき環境行政を進めており、その計画に掲げる施策に検証指標を設定し、毎年、進行管理を行っています。

このアンケート調査は、その検証指標等に関連して、市民の皆様お一人おひとりが、環境に対してどのように感じ、考えていらっしゃるのか、また、どう実感され、どのように行動されているのかをお聞きするもので、その結果を今後の環境行政に反映させてまいりたいと考えています。

皆様には、お忙しい中お手数をお掛けいたしますが、本アンケート調査にご協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。

令和5年(2023年)11月 熊本市長

大西一史

■アンケート調査の対象者について

このアンケート調査の対象者は、令和5年(2023年)11月10日現在で熊本市に住民票がある満18歳以上の方々の中から3千人を無作為に選ばせていただきました。

いただきましたご意見・ご回答の内容につきましては、このアンケートの集計・分析のみに活用し、それ以外には使用いたしません。また、アンケートの回答により、個人が特定されたり、ご迷惑をおかけすることはありません。

■回答方法（以下のいずれかの方法）

（1）アンケート用紙に直接記入して回答

- 封筒あて名のご本人が回答してください。（※代筆可能）
- 諸事情によりご本人の回答が難しい場合は回答不要です。（書類は破棄してください。）
- 調査票は同封の返信用封筒で令和5年12月28日（木）までに投函してください。（※切手不要）
- 返信用封筒に住所、氏名を記入する必要はありません。

（2）インターネットによる回答

- お手持ちのスマートフォンで、右記二次元コードを読み込んで回答してください。（回答は1人1回・本人のみ）
- 令和5年12月28日（木）までに回答してください。



■お問い合わせ

熊本市役所 環境局 環境推進部 環境政策課

電話 096-328-2427（直通） 電子メール：kankyouseisaku@city.kumamoto.lg.jp

インターネットでの回答方法の詳細については、裏面をご覧ください。

インターネットでの回答方法について

■インターネット回答にあたっての注意点

- ・インターネットでの回答時間の目安は、約15分です。令和5年12月28日(木)までにご回答をお願いいたします。
- ・インターネットでご回答いただきましたら、アンケート用紙の郵便での返送は不要です。

■スマートフォン・携帯電話から

以下の二次元コードを読み取っていただくと、直接アンケート画面へ移行します。



読み取れない場合は、以下のパソコンからの手順か、アドレス

https://www.city.kumamoto.jp/entry/pub/AnsForm.aspx?c_id=37&entry_ins=273

を直接入

力してください。

■パソコンから

- ①熊本市ホームページ (<https://www.city.kumamoto.jp/>) を検索サイト等で検索してください。
- ②トップページ右上の検索画面で、“環境に関する市民アンケート” とご入力いただき、検索してください。



環境に関する市民アンケート調査

調 査 票

※ 回答にあたっては、該当の番号を「○」で囲むものと、自由記載のものがあります。

問 1 あなたは、熊本市の良好な環境※が守られていると感じますか。(1 つだけ)

1. とても感じる

2. やや感じる

3. どちらともいえない

4. あまり感じない

5. 全く感じない

問 1-1 へ

※「良好な環境」とは

熊本市では、市民が健康で文化的かつ快適な生活を持続的に営むことができる以下の四つの環境に分類しています。

① 生活環境 ② 自然環境 ③ 歴史的・文化的環境 ④ 地球環境

(問 1 で 3、4、5 を選択された方にお尋ねします。)

問 1-1 どちらともいえない、あまり感じない、全く感じないと思われる理由は何ですか。(いくつでも可)

1. 騒音・振動・悪臭・大気汚染といった生活環境の悪化

2. 緑や水などの自然環境の悪化

3. 歴史的・文化的遺産と調和したまちづくりの後退

4. 身近な生きものの減少や外来種の増加

5. ごみ出しマナーの悪化といったごみに関する問題

6. 地球温暖化の進行といった地球環境の悪化

7. 環境教育の機会の減少

8. 環境保全活動に市民が参加する機会の減少

9. 感染症等の影響による自然環境等に触れる機会の減少

10. その他 ()

問 2 熊本市民の共有財産である地下水が、市民、事業者、行政の保全活動により守られていると感じますか。(1 つだけ)

1. とても感じる

2. やや感じる

3. どちらともいえない

4. あまり感じない

5. 全く感じない

問3 私たちの暮らしに欠かせない水や酸素、食や地域特有の文化などが
「生物多様性※」からもたらされたものであると知っていますか。(1つだけ)

1. 知っている
2. 知らない

※「生物多様性」とは

地球上には何百万種類もの生物が存在し、これらの生物が、例えば食べる・食べられるなど、お互いを利用し、支えあうといった繋がりの中で生きていることです。私たちの暮らしは、水や酸素、食料や衣類、癒しや文化的価値など生物多様性に支えられています。

問4 あなたはこれまでに「生物多様性」について、学んだことがありますか。
(1つだけ)

1. 学んだことがある
2. 学んだことがない

問4-1へ

(問4で1を選択された方にお尋ねします。)

問4-1 どのような方法で学びましたか。(いくつでも可)

1. 学校
2. 仕事
3. 環境学習イベント
4. 自然観察会
5. 体験学習会
6. 出前講座
7. 公民館講座
8. 新聞や本、インターネット
9. その他 ()

問5 熊本市の中心市街地に緑が多いと感じますか。(1つだけ)

1. とても感じる
2. やや感じる
3. どちらともいえない
4. あまり感じない
5. 全く感じない

問 6 お住まいの周りに緑が多いと感じますか。(1 つだけ)

1. とても感じる
2. やや感じる
3. どちらともいえない
4. あまり感じない
5. 全く感じない

問 7 中心市街地の「緑の質※」に満足していますか。(1 つだけ)

1. 満足している
2. どちらかといえば満足
3. どちらともいえない
4. どちらかといえば不満
5. 不満である

※「緑の質」とは

緑の持つ様々な役割を活用することは、都市機能の強化、魅力の向上につながります。熊本市では、緑の役割を「緑の質」と表現し、以下の五つに分類します。

- ① 都市環境の維持・改善（木陰の提供、気温上昇抑制、生物の生息環境確保）
- ② 良好な都市景観の形成（緑の適切な配置による魅力的な街並みの形成）
- ③ 都市の安全性の確保（火災による延焼防止、水害・土砂災害の防止）
- ④ 健康づくり・レクリエーション空間の提供（休養・休息の場の提供）
- ⑤ 精神的充足（うるおいややすらぎの心理的効果、地域コミュニティの促進）

問 8 お住まいの周りの「緑の質」に満足していますか。(1 つだけ)

1. 満足している
2. どちらかといえば満足
3. どちらともいえない
4. どちらかといえば不満
5. 不満である

問 9 熊本市の地域ごとに、特色ある街並み（街並みや自然の風景）があると感じますか。(1 つだけ)

1. とても感じる
2. やや感じる
3. どちらともいえない
4. あまり感じない
5. 全く感じない

問 10 環境について学ぶ機会(学習会やイベント等)が増えてきたと感じますか。

(1 つだけ)

1. とても感じる
2. やや感じる
3. どちらともいえない
4. あまり感じない
5. 全く感じない

問 11 環境保全に関わるまちづくりの活動が増えてきたと感じますか。

(1 つだけ) (例：緑化活動、清掃活動、環境学習に関する活動など)

1. とても感じる
2. やや感じる
3. どちらともいえない
4. あまり感じない
5. 全く感じない

問 12 日頃、地域の環境保全活動に参加していますか。(1 つだけ)

1. 積極的に参加している
2. できる限り参加している
3. 参加したことはないが、今後参加してみたい
4. 参加したことはないし、今後も参加したいと思わない

問 13 紙のごみカレンダーをもっと便利にしたスマートフォン・タブレット向けの「熊本市ごみカレンダーアプリ」を使っていますか。(1 つだけ)

1. 使用している
2. 使用していない

問 14 この1年間にごみステーションから資源物等を持ち去る行為を目撃しましたか。(1 つだけ)

1. 11回以上目撃したことがある
2. 1～10回程度目撃したことがある
3. 目撃したことはない
4. 分からない

問 14-1 へ

(問 14 で 1、2 を選択された方にお尋ねします。)

問 14-1 目撃情報を LINE (ライン) や電話で市に通報しましたか。(1 つだけ)

1. LINE (ライン) で通報した
2. 電話で通報した
3. LINE (ライン) と電話どちらでも通報した
4. 通報しなかった

問 15 同居するすべての方がごみ出しを行うことが困難な場合、それぞれのお宅の玄関先まで収集に伺う「ふれあい収集」を知っていますか。(いくつでも可)

1. 対象となる範囲を知っている
2. 申請方法を知っている
3. 相談窓口を知っている
4. 知らない

問 16 現在、急激に普及している火を使わない「電子たばこ (加熱式)」の路上喫煙について、従来のたばこと同様に規制する必要があると考えますか。(1 つだけ)

1. 規制する必要がある
2. 規制する必要はない
3. 従来のたばことは規制内容に区別が必要である
4. どちらでもよい

問 17 海洋プラスチック問題を知っていますか。(1 つだけ)

1. 知っている
2. ある程度知っている
3. 知らない

問 18 プラスチックごみの削減に取り組んでいますか。(1 つだけ)

1. 取り組んでいる
2. 取り組んでいない

問 19 「食品ロス」について知っていますか。(1 つだけ)

1. 言葉も内容も知っている
2. 言葉は知っているが、内容はよく知らない
3. 知らない

問 20 食品ロス削減のため、買いすぎ・作りすぎをしないように心がけていますか。(1 つだけ)

1. 心がけている
2. 特に心がけていない

問 21 食品ロス削減について、取り組んでいることはありますか。(いくつでも可)

1. 残さずに食べる
2. 食べきれ的分だけ作る
3. 冷凍保存を活用する
4. 残った料理を別の料理に作り替える（エコレシピの活用）
5. 今ある食材を確認してから買い物に行く
6. 使いきれ的分だけ買う
7. 賞味・消費期限が近いものから食べる
8. すぐに食べる場合は、お店の陳列棚の手前の商品をえらぶ（てまえどり）
9. フードドライブへの提供
10. 外食の際に食べきれる量を注文する
11. 外食時、食べきれなかった分を持ち帰る（ドギーバッグの使用）
12. 3010（さんまるいちまる）運動を実施する
13. 「もったいない！食べ残しゼロ運動」協力店を利用する
14. 特に取り組んでいない
15. その他（)

問 22 地球温暖化対策に積極的に取り組むべきと考えていますか。(1 つだけ)

1. 考えている
2. あまり考えていない
3. 考えていない

問 23 あなたの住宅について教えてください。(1 つだけ)

1. 戸建住宅（自己所有）
2. 戸建住宅（賃貸等）
3. 集合住宅（自己所有）
4. 集合住宅（賃貸等）

問 24 地球温暖化対策として実際に導入している（されている）、もしくは取り組んでいることはありますか。（いくつでも可）

1. 電気自動車・プラグインハイブリッド車の使用
2. エコドライブを心がけた車の運転
3. 積極的な公共交通機関の利用
4. 住宅の ZEH^{*}化または ZEB^{*}化
5. 太陽光発電
6. 蓄電池
7. エネファーム
8. 二重窓にするなど住宅の断熱化
9. 省エネ家電の購入や使用
10. LED 照明の使用
11. エコバッグの使用
12. 温暖化対策には取り組んでいない
13. その他 ()

※ 「ZEH (ZEB)」 とは、

ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス（ビル）の略称で、快適な室内環境を実現しながら、住宅（建物）の中で使うエネルギーと創るエネルギーの量が、年間で差し引きおむねゼロになる住宅（建物）のことです。

問 25 「デコ活※」又は「^{クール}COOL ^{チョイス}CHOICE※」について知っていますか。(1 つだけ)

1. 言葉も意味も知っている
2. 言葉は知っているが、意味はよく知らない
3. 知らない

※「デコ活」とは、

「脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動」の愛称であり、「CO2を減らす(Decarbonization：脱炭素)」、「環境に良いエコ(Eco)」を含む「デコ」と「活動・生活」を組み合わせた新しい言葉です。

※「COOL CHOICE (クールチョイス)」とは、

地球温暖化の防止に資するあらゆる「賢い選択」を促す国民運動の愛称です。

問 26 熊本市内の環境の現状について、あなたが一番問題と思われることは何ですか。(1つだけ)

1. 自然、緑、水辺、野生の生き物の豊かさ
2. 地下水の状況（水質や量など）
3. ごみ収集、処理の状況やごみ減量、リサイクルの状況
4. 地球温暖化防止のための、省エネルギーや再生可能エネルギーの推進
5. まちなみの景色の美しさや、公園や緑地の多さ
6. 大気の状況
7. 河川などの水辺の美しさ、清潔さ
8. 生活環境の快適さ（騒音や振動、悪臭などがないか）
9. 環境に配慮した道路、歩道などの整備
10. 環境について学ぶ機会や情報を得る機会（環境保全イベント等の開催）
11. 問題があるとは思っていない

問 27 あなたが問 26 で回答されたことについて、どのような課題や問題があると思われますか。ご自身のお考えを具体的に記入してください。

最後に、回答者ご自身についてお聞きします。

1 ご年齢

1	10歳代	2	20歳代	3	30歳代
4	40歳代	5	50歳代	6	60歳代
7	70歳代	8	80歳代	9	90歳以上

2 ご職業

1	会社員（パート含む）	2	自営業	3	農林漁業
4	公務員	5	学生	6	主婦・主夫
7	無職	8	その他（		）

3 お住まいの地区

区	居住地区（小学校区） ※お住まいの <u>校区</u> に○をつけてください。
中央区	出水、出水南、一新、大江、帯山、帯山西、黒髪、慶徳、向山、壺川、五福、白川、城東、砂取、碩台、託麻原、白山、春竹、本荘
東区	秋津、泉ヶ丘、画図、尾ノ上、健軍、健軍東、桜木、桜木東、託麻北、託麻西、託麻東、託麻南、月出、長嶺、西原、東町、山ノ内、若葉
西区	池田、池上、小島、春日、河内、城山、城西、白坪、高橋、中島、花園、古町、芳野
南区	飽田西、飽田東、飽田南、奥古閑、川口、川尻、隈庄、城南、杉上、銭塘、田迎、田迎西、田迎南、富合、豊田、中緑、日吉、日吉東、御幸、力合、力合西
北区	麻生田、植木、川上、楠、桜井、山東、清水、城北、高平台、田底、龍田、龍田西、田原、西里、楡木、菱形、北部東、武蔵、山本、弓削、吉松

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

「第4次熊本市環境総合計画」に関する
市民アンケート調査報告書
【令和5年度(2023年度)版】

発行 令和6年(2024年)6月
編集 熊本市環境局環境推進部環境政策課
熊本市中央区手取本町1番1号
TEL 096-328-2427
